

平成27年度入会・継続受付中です!

平成27年度入会・継続の受付が始まっております。入会は1年毎の更新となります。

入会区分	対象	納入金額計
新規	東京都看護協会に初めて入会する方	20,000円
継続	平成26年度に会員だった方	15,000円
再加入	過去に東京都看護協会に入会したことがある方	
異動 <small>27年度他道府県に入会済みの方が対象</small>	東京都看護協会に初めて入会される方	5,000円(入会金のみ)
	過去に東京都看護協会に入会したことがある方	0円(入会金は不要)

会費内訳:入会金:5,000円 東京都看護協会会費:5,000円
東京都看護協会会館維持費:5,000円 日本看護協会会費:5,000円

会員有効期間:平成27年4月1日~平成28年3月31日

●これからお手続きされる方は以下の点をご確認ください。

1. 再加入の方は入会金5,000円が不要です。入会履歴が不明の方は手続き前に会員係までお問い合わせください。
2. 平成27年4月以降に他県へ転勤・異動を予定している方は、確定後に異動先の道府県看護協会へ入会手続きをお取りください。
3. 平成27年度の入会手続きを済ませた後に、施設移動・退職等変更があった場合は、電話・ファックス・メールのいずれかでお知らせください。
4. 会費納入は銀行振込または郵便振替でお願いいたします。現金取り扱いによるリスクを回避するため協会窓口での現金お取り扱いには10万円までとさせていただきます。ご協力のほどお願いいたします。



お問い合わせは総務課会員係まで TEL:03-5229-1732 FAX:03-5229-1524

蔵書検索・リニューアル

- 1 「東京都看護協会ホームページ」のトップページにあります「アクセス・施設・図書室案内」
- 2 「蔵書検索」の項目を選びます。
- 3 検索窓にお探しの書名、または著者名を入れて右側の検索ボタンをクリックしてください。「脳卒中」「在宅ケア」などの単語でも結構です。
- 4 入力した語が含まれる本・映像資料・雑誌・雑誌特集記事が、結果として表示されます(本については、左側に表紙のイメージ写真も表示されます)



新機能

雑誌を一覧で確認したい場合は「雑誌タイトルで探す」をクリックすると全所蔵雑誌が確認できます。

新年度がスタートしました。気持ち新たなこの時期に是非ご来室ください。図書室は、今年度も会員皆様の「知りたい」をお手伝いします。

表紙 ナイチンゲール

ナイチンゲール看護研究所 金井一薫氏から写真をご提供いただきました。ナイチンゲール(右)、Hampshire Embley Park(左上)、クリミアでの統計(左中)、クリミアでの看護(左下)

編集後記

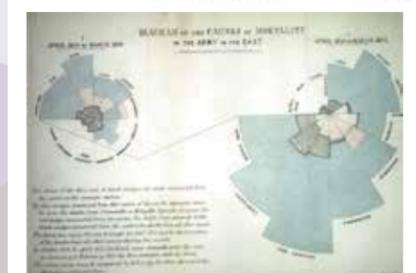
5月12日は看護の日。ナイチンゲールのお誕生日です。学生時代に学んだ看護の原点を思い出し、気持ちを新たにスタートしましょう。(広報委員一同)



ホームページはコチラ

http://www.tna.or.jp

NURSING in TOKYO



CONTENTS

- 2 会長あいさつ
- 3 理事会報告・平成27年度日本看護協会代議員及び予備代議員名簿
- 4 平成27年度東京都看護協会代議員及び予備代議員
- 5 平成27年度東京都看護協会通常総会プログラム
- 6 平成26年度事業実績報告
- 11 平成27年度重点事業ならびに事業計画
- 15 東京都ナースプラザだより
- 16 平成27年度教育研修
- 18 看護研究学会報告
- 19 訪問看護フェスティバル・保健師職能委員会研修
- 20 保・助・看のページ
- 22 委員会活動
- 23 委員会活動・子育て支援事業奨励賞受賞
- 24 チーム医療の現場から・看護フェスタ2015のご案内
- 25 施設めぐり 信愛訪問看護ステーションほほえみ
- 26 みんなの広場 卓球を通して健康寿命に貢献する会発足会
- 28 会員係からのお知らせ・図書室だより

※看護とうきょうはホームページにも掲載しています。

未入会の方に入会をすすめましょう!

平成26年度東京都看護協会会員数
46,162名(平成27年3月31日現在)

保健師	助産師	看護師	准看護師	計
443名	1,924名	43,048名	747名	46,162名
就業数	3,454名	90,336名	15,377名	112,605名
入会率	12.8%	56.0%	47.7%	41.0%

就業数は平成24年12月31日現在の「東京都における看護師等業務従事者届集計報告」による



東京都看護協会会員の皆様

公益社団法人 東京都看護協会会長 嶋森好子

会員の皆様には、新採用者の教育・研修等お忙しい日々と存じます。日頃より、東京都看護協会活動にご支援いただきありがとうございます。

さて、平成26年度は、保健医療福祉政策転換の第1歩の年でした。昨年6月に閣議決定された「地域の医療と介護の確保関連法(略)」の一部が施行され、病床機能の届け出が義務化されました。また、都道府県に配分された消費税増税分の基金(904億円)の内、77億円の配分を東京都が受けました。この基金には、今後、都道府県の事業となる、看護師の基礎教育機関への補助金など、看護関連の事業費を含んでいます。

新たな事業としては、平成26年度から、地域包括ケアシステムの構築推進、島しょ看護職員定着促進事業、看護職員の離職時の届け出の努力義務化への対応等の事業が行われ、東京都看護協会への事業の委託も増えています。今後も、看護職能団体として、看護職の価値と役割の重要性を都の政策を検討する部署にしっかりと伝えて、これらの基金が、適切に配分されるように注視していく必要があります。

しかし、その裏付けとなるのは、医療や福祉の現場で都民に直接サービスを提供している看護職の皆様のご活動です。一人ひとりの看護職の働きが、どれだけ都民に評価されているかにかかっています。多職種協働の時代に、医療の専門的な知識を備えた看護職の価値は、更に高まっています。現場の皆様が、社会に期待される役割を果たしていけるよう、協会としてもできるだけの支援をしていきたいと考えております。

さて、ご存知のように5月12日は、ナイチンゲールの誕生日です。1965年に国際看護師協会は、この日を“国際看護師の日”(International Nurses Day : IND)と定めていますが、日本では、1990年に厚生労働省が、“看護の日”としました。

国際看護師協会は、看護師の日に国際的に取り組むテーマを提示しています。今年のテーマは、「看護師:変革の力-高いケア効果及び費用対効果」です。このテーマは日本の看護職にとっても重要なテーマです。いずれの国においても高齢化の進展と医療や福祉の財源の逼迫する中で、効率的に質の高いケアを提供することが期待されています。

本会報の表紙は、そのナイチンゲールの横顔です。この写真は、ナイチンゲール看護研究所の好意で提供いただきました。その左側にナイチンゲールが、戦場で兵士の死亡率が高い原因や、その対処について提言するときに創った図の写真があります。今ではナイチンゲールは統計学者と紹介されています。

“看護の心”をもって、エビデンスに基づいて、この変革の時代を先導する看護職でありたいと期待して表紙にしました。新しい年度もよろしくお願いたします。



理事会報告

第7回 理事会

平成27年1月22日(木)16:00~18:00

I 協議事項

- 1 医療介護総合確保法に基づく東京都の取組みについて
平成26年度 新規受託事業について
平成27年度 受託予定事業について
- 2 平成27年度事業方針、事業計画(案)について
- 3 平成27年度予算(案)概要について
- 4 諸規程の整備について
- 5 運営細則の改正について
- 6 東京都看護協会社団法人創立30年記念事業について
- 7 東京都看護協会委員会委員の公募について(再提出)
- 8 平成27年度ICN,ICM参加について
- 9 平成27年度東京都看護協会会議等行事日程について
- 10 平成27年度東京都看護協会通常総会プログラム(案)について

II 報告事項

- 1 日本看護協会会長表彰推薦候補者について
- 2 「卓球を通して健康寿命を伸ばす会」の発足について
- 3 事業報告(定款事業1~6)
定款事業1 看護職の資質の向上に関する事業
定款事業2 看護業務の開発・改善及び情報の提供に関する事業
定款事業3 看護職の人材確保と定着推進に関する事業
定款事業4 在宅ケアの推進と支援に関する事業
定款事業5 地域住民の保健福祉に関する事業
定款事業6 その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- 4 人事

第8回 理事会

平成27年3月19日(木)16:00~18:00

I 協議事項

- 1 平成27年度事業計画(案)・収支予算(案)について
1)事業計画(案)
2)収支予算(案)資金調達及び設備投資の見込み(案)についてを含む
- 2 資産取得資金の積立について
- 3 平成27年度委員会委員の承認について
- 4 平成27年度通常総会プログラム(案)

II 報告事項

- 1 日本看護協会会長表彰者の決定について
- 2 東京都看護協会事務局組織細則改正について
- 3 研修会参加費用の変更について
- 4 平成27年度 会議・行事日程表等(更新)について
- 5 事業報告(定款事業1~6)

定款事業1 看護職の資質の向上に関する事業

- 1-1 継続教育の実施に関する事業
- 1-2 学会開催・看護研究会

定款事業2 看護業務の開発・改善及び情報の提供に関する事業

- 2-3 看護管理者・教育責任者交流事業
- 2-4 各職能の専門性向上のための事業
- 3) 専門・認定看護師の活動支援・専門・認定看護師キャリアアップ研修
- 4) 准看護師制度を含む看護制度のあり方の検討
- 2-5 広報活動に関する事業

定款事業3 看護職の人材確保と定着推進に関する事業

- 3-1 就労促進と働きやすい職場環境改善に関する事業
- 1) ワーク事業、看護職確保対策事業

- 5) 訪問看護人材確保事業
- 6) ワークライフバランス推進事業-WLBフォローアップワークショップ
- 7) 新規事業 島しょ看護職員確保定着促進事業
(平成27年1月東京都から受託)
出前研修と短期代替看護職員派遣に関するアンケート調査の実施

定款事業4 在宅ケアの推進と支援に関する事業

- 4-1 訪問看護ステーション事業
- 4-2 在宅ケアの充実に向けた看護連携の推進

定款事業5 地域住民の保健福祉に関する事業

- 5-1 地域住民に健康支援に関する事業
- 1) 次世代育成事業、まちの保健室、東京都エイズ・ピアエデュケーション事業
- 2) 東京マラソン救護活動支援
- 3) 「卓球を通して健康寿命に貢献する会」発足会
- 5-2 災害時の看護支援活動に関する事業

定款事業6 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- 6-2 円滑な組織運営
- 1) 組織運営のための諸会議開催
① 職能委員会活動 ② 各委員会活動
- 2) 地区支部との連携強化
- 地区支部活動報告
- 3) 協会事務局の体制整備および効率的な運用
- 情報システム更新進捗状況
- 6-3 関連機関との連携と政策提言に関する事業
- 1) 日本看護協会・東京都・他団体参加報告
- 6-6 会館建替

6 人事

III その他

平成27年度合同委員会について

平成27年度公益社団法人日本看護協会 代議員及び予備代議員名簿

■ 代議員49名

西内千代子	本田みき子	山元友子	瀬下律子	廣岡幹子	照沼則子	荒井澄子	砥石和子	山崎あゆ子	藤野恭子
黒木美津子	井上由美子	安部崇子	橋本光江	淵野純子	大和田泰子	赤塚敦子	星ユカリ	碓井真紀	内田由起子
岡美穂	鈴木樹美	木野毅彦	武田智子	大関百合子	平野美理香	大沼扶久子	知念信子	佐藤秀子	井手尾千代美
渋谷妙	嘉茂すみ代	横田和子	佐藤ちず子	増島絵里子	友良実子	星野恵	小川朋子	笹木織絵	阿部園美
脇田小百合	海野浩子	梅野直美	大塚光代	尾崎光代	山本雅子	島山まり子	武知幸子	神谷美鈴	

■ 予備代議員41名

本間喜代美	小宮智子	小川綾子	吉成悦子	伊藤千夏	森浩美	小松ひろみ	広瀬明子	柏千影	川上京美
高橋真弓	久慈敬子	澤間泰子	大久保春江	上田千鶴	後藤浩恵	加賀谷敦子	川崎明子	毛利ひろみ	片野恵
鈴木恵子	加藤千鶴子	牟田章子	今井文子	郷田和子	西平万知子	白石ゆかり	小山三枝子	横山映理子	堀充美
石田亜紀	佐藤顕子	熊倉英高	瀬間さなえ	関口成美	山口智子	藤本和枝	吉田妙子	峯岸恵子	森山栄子
栗原サキ子									

平成27年度 公益社団法人東京都看護協会 代議員名簿

東部地区 23名

田中美香	梶村美穂子	藤岡美津子	廣澤智恵	田中美香	吉富治美
大石英美	金杉佳代子	二嶋好枝	岡田恵理子	及川香織	飛田千鶴子
窪見康子	碓井真紀	木村加代子	多田理恵	鵜浦真澄	芳賀紀子
内田由起子	伊地知淑子	道林仁子	橋本由美	青柳裕子	

西部地区 61名

澤間泰子	木下良子	小池牧子	蟹澤幸子	持田良子	池田法子
大久保春江	植村ひとみ	知念信子	小林弘美	立山幸子	大沼扶久子
大塚満寿美	久慈敬子	林淳子	大関百合子	小原かおる	高橋真弓
上野恵美子	武田智子	増田安子	菊岡史子	松本啓子	宇佐美恵子
竹田浩子	藤本志保	吉田裕美	宇野珠里	木村陽子	平田常美
松岡清子	市瀬たみ子	柏田影	梅村裕子	木村智子	鈴木真由美
松本亜矢子	川上滋子	市橋富子	笹原合加	鈴木舞	金沢小百合
塚越ひろみ	海野浩子	星野恵	告原博美	石田恭子	牧野ゆみ
柳瀬由香	細井恵子	片岡美樹	中野直美	桐澤千里	十日市科奈子
小野邦子	豊見山則子	吉原佳子	水戸岡江里	白石ゆかり	大橋礼子
星野美祈					

南部地区 42名

永安久美	池田美里	大久保弥生	松本有子	小沼徳恵	尾根田真由美
志村千秋	佐伯恭子	福井節子	鮫島博美	岡本雅子	石田美和子
鈴木広子	稗田幾子	高柳和加	藤田優子	深井明子	大場薫
和田人美	小暮あや子	加藤千鶴子	桐裕美	坂下恵美子	堀川慶子
牛澤多恵子	丹下幸子	増島絵里子	大財きみ子	中嶋理香	谷口ちなみ
伊藤裕子	笹山名月	大野耕平	大林恵子	市島美保	武井節子
服部千佳子	宮本舞	畑澤由美	碓氷比呂子	方波見裕子	森原みどり

中部地区 42名

木野毅彦	小松ひろみ	三橋恭子	山下敏江	堀合晴美	平井優美
廣田則子	村松美詠子	藤井愛	岸田美貴	菊池裕子	高橋富貴子
腰越智子	三津家照美	武子智織	脇田小百合	熊井久美子	正藤倫音
高橋みどり	高橋由利子	上野早苗	矢内富江	友良実子	大木美智子
横山映理子	綾部晶子	笹木織絵	中林由江	沼澤真希	土方ふじ子
山根絵里	石田亜紀	菅野由紀子	阿部園美	成田初子	水漣美紀
水野留美子	大西亜由美	小松崎真理	佐藤友紀	高橋和美	鈴木幸代

多摩北地区 21名

山下弥生	深作千恵	伊藤真紀	瀬間さなえ	岡本千浪	板垣裕子
森希代美	山口友子	鶴岡和子	青木由紀子	浅沼真理	藤田三和
境りえ	西宮陽子	石川孝子	黒野義孝	伊東恵美子	比留間あゆみ
小関牧子	武田裕美	松沢正代			

多摩南地区 33名

梅野直美	辻村淑子	高橋さくら	森田知子	池田優子	小川奈緒子
椎橋章子	長峰一志	松田恵美	村田泉	廣田貴久江	北川和恵
鈴木瑞枝	熊谷由美子	石塚富美枝	中西佳美	福地洋子	三浦希民子
遠藤洋子	岡部由佳	金澤めぐみ	小室裕子	羽生訓子	景山優子
豊泉宏美	小林幸子	松尾美穂	吉田妙子	田中久代	高橋明子
落合三枝子	木下大輔	安藝佐香江			

平成27年度 公益社団法人東京都看護協会 予備代議員名簿

東部地区	西部地区	南部地区	中部地区	多摩北地区	多摩南地区
笹美恵子 上田咲子	今井恵子 後藤陽子 藤井聡江 川上京美 矢野睦子	前田美保 徳田幸子	井村千恵子 福永智美 石川久美子 橋川明子 佐藤顕子	山川敦嗣 伏川規子 岩崎裕子 小川光子 桑田美代子	伊藤勝一 引地美幸 長沼貴美

平成27年度

通常総会プログラム

日時 平成27年 **6/25** (木) 9:00~17:00

場所 日本教育会館 一ツ橋ホール(千代田区一ツ橋2-6-2)

9:00 開 場

9:20 オリエンテーション

9:30 開 会 物故会員への黙祷
会長挨拶
来賓祝辞
来賓紹介
祝電披露
東京都看護協会会長表彰
日本看護協会会長表彰者紹介

10:10 議長団選出・議事録署名人の決定

議決事項

- 第一号議案 東京都看護協会名誉会員の推薦(案)
- 第二号議案 平成27年度東京都看護協会選挙管理委員選出について
- 第三号議案 平成28年度日本看護協会代議員および予備代議員選出について
- 第四号議案 改選役員・推薦委員 選挙

11:25 昼 食 休憩

12:25 東京都看護協会名誉会員表彰

12:35 報告事項

- 報告事項1 平成26年度 理事会報告
- 報告事項2 平成26年度 事業報告
- 報告事項3 平成26年度 職能委員会報告
- 報告事項4 平成26年度 決算報告ならびに監査報告
- 報告事項5 平成27年度 事業運営方針並びに事業計画
- 報告事項6 平成27年度 収支予算及び収支計画
- 報告事項7 平成28年度 東京都看護協会代議員及び予備代議員

議事終了

15:10 選挙結果発表

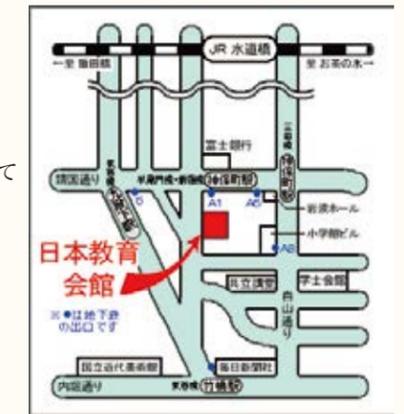
15:15 閉 会

15:30~16:45

特別講演

テーマ 超高齢社会における
コミュニケーションロボットの
活用とこれからの可能性(仮)

講 師 首都大学東京大学院
人間健康科学研究科作業療法科学域
准教授 井上 薫 氏



住所:千代田区一ツ橋 2-6-2
電話:03-3262-7661

(最寄り駅のご案内)
東西線……九段下駅(出口6)
竹橋駅(北の丸方面出口)下車徒歩5分
都営三田線……神保町駅(出口A6・A8)下車徒歩5分
都営新宿線……神保町駅(出口A1)下車徒歩2分
半蔵門線……神保町駅(出口A1)下車徒歩2分
JR……水道橋駅(西口)下車徒歩15分

平成27年度 公益社団法人東京都看護協会職能交流集会

日時:平成27年7月25日(土)13:30~17:00

場所:公益社団法人東京都看護協会会館 三職能合同シンポジウム予定

平成26年度 事業実績報告(全体)

平成26年度は、定款に定める事業を下記の重点事業とともに実施した

1 看護職の資質の向上への取組み

- 1) 高齢社会に向けた看護職の専門性の強化
- 2) 専門・認定看護師の社会的活動支援

2 各職能に関連する情報提供と交流集会

3 雇用の質の向上への取組み:看護職がやりがいをもって働き続けられる環境改善活動の推進

4 在宅ケアの充実及び連携への取組み:在宅ケアの充実に向けた看護連携の推進

5 災害に備えた支援体制の整備

I 看護職の資質の向上に関する事業〔定款第4条(1)〕

1 継続教育の実施に関する事業

教育委員会、医療安全委員会の協力のもと全研修の実施・評価を終了
1)2)3)総受講者数 計10,014名

1) 実務実践能力の向上に関する研修(受講者数8,787名)

看護実践研修I、看護実践研修II、教育・指導研修、
マネジメント研修 受講者数5,987名
訪問看護師育成基本コース(ナースプラザ研修) 受講者数33名
地区支部研修 受講者数2,767名

2) 実務実践マネジメント能力の向上に関する研修(受講者数370名)

認定看護管理者養成研修
ファーストレベル 第1回修了者72名、第2回修了者69名
セカンドレベル 第1回修了者33名、第2回修了者29名
医療安全管理者養成研修 7日間 修了者88名
医療安全管理者養成研修修了者フォローアップ研修 受講者79名

3) 看護教育実践能力の向上に関する研修(受講者数857名)

新人看護職員卒後臨床研修事業・教育責任者の教育等
(応募者566名 受講者528名)
新人看護職員研修(ナースプラザ研修)
-2日間または4日間の2コースを2回実施
受講者数 2日間12名 4日間53名(計65名)
実習指導者研修(ナースプラザ研修)年3回 受講者数235名
在宅看護論実習指導者研修(ナースプラザ研修) 受講者数29名

2 各職能の専門性向上のための事業

1) 各職能の実践能力向上や機能強化のための研修や指針等の周知・普及

- (1) 保健師
 - ・保健師活動指針の普及推進のための研修
「新たな保健師活動指針を読み解く」
開催日:平成26年8月9日 参加者37名
 - ・産業保健新人保健師研修
「労働衛生の今日的課題」他
平成26年9月27日 参加者43名
 - ・地域包括支援センター・高齢者福祉部門で働く保健師研修
「地域包括ケアシステムにおける住民への責任」
開催日:平成27年1月31日 参加者49名

- (2) 助産師
 - ・新人助産師研修 「乳房管理」
開催日:平成26年9月13日 参加者73名
 - ・産科看護管理者研修会
「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)の理解と
評価方法に関する研修」
開催日:平成26年12月6日 参加者20名
 - ・子育て支援運営委員会企画学習会
「産婦人科診療ガイドライン 産科編2014」
開催日:平成27年2月19日 参加者91名

2) 専門・認定看護師の活動支援

- (1) 専門・認定看護師の施設外活動のためのシステムの検討
- (2) 専門・認定看護師交流会の開催
開催日:平成27年3月7日 参加者225名

3 看護研究学会開催

1) 看護学生看護研究学会

テーマ:はばたけ未来へ あなたの看護
開催日時:平成26年12月15日(月)12:00~16:15
場 所:文京シビックホール
内 容:口述発表、示説発表、特別講演、シンポジウム、
学生交流ひろば
*特別講演
テーマ:そのひとらしさ・自分らしさをまもる
講 師:糸川 正成 氏
(公益財団法人 東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野
統合失調症・うつ病プロジェクト プロジェクトリーダー)

*シンポジウム

テーマ:その人らしさを守る看護
*学生交流ひろば 出展4
参加者1,691名 演題・口述 5 題 示説 8 題

2) 看護研究学会

テーマ:マイタウンTOKYO Justな都市型看護をめざします!
-家族を支えるさまざまな看護のかたち-
開催日時:平成27年1月24日(土)10:00~16:00
場 所:日本教育会館
内 容:口述発表、示説発表、特別講演、シンポジウム、
交流会、看護用具創意工夫
*特別講演I

テーマ:交代勤務のための上手な睡眠
講 師:高橋 正也 氏
(独立行政法人労働安全衛生総合研究所 上席研究員/医学博士)

*シンポジウム

テーマ:家族を支えるさまざまな看護のかたち
*交流会
テーマ:看護ものづくり
参加者381名 演題・口述 12 題 示説 27 題
看護用具創意工夫作品 1 題

4 看護研究助成

看護研究のレベルアップを図るための支援(※共益事業)

5 図書室の運営

平成26年度新規購入 図書287冊
利用者数(延べ)3,324名 (2月末現在)

6 その他看護職の資質向上に関する事業

- 1) ソウル特別市看護協会交流事業(訪日)
開催日:平成26年10月14日(火)~10月17日(金)
ソウル特別市看護協会会員12名

II 看護業務の開発・改善及び情報提供に関する事業〔定款第4条(2)〕

1 看護業務の開発・改善に関する事業

- 1) 平成25年度調査結果の分析、報告書作成、発行
保健師実態調査、看護職のセカンドキャリア活用に関する調査
- 2) 資料の収集、データの蓄積
- 3) 業務改善・開発及び政策提言のための資料の作成
東京都及び都議会議員への予算要望に関する提言提出
- 4) 看護制度に関する検討
- 5) 助産師出向支援モデル事業(日本看護協会受託事業)
3事例の出向の実施

2 医療の質と安全の推進事業

- 1) 医療安全推進のための都民公開講座
「医療安全フォーラム」の開催
開催日:平成26年12月6日(土)
場 所:東京都庁第一本庁舎5階大会議場
テーマ:在宅につなげる医療安全
-高齢者の安全な療養生活を支える-
参加者196名
- 2) リスクマネジャー交流会開催
開催日時:平成26年10月11日(土)13:30~17:00
参加者51名
- 3) 医療安全関連情報の提供

3 看護管理者教育責任者交流事業

1) 講演会・交流会の開催

- (1) 第1回 平成26年8月2日(土)
テーマ:新たな看護職員確保に向けて
-大卒社会人経験看護師の可能性
講 師:聖路加国際大学学長 井部 俊子 氏
参加者219名
講演 ②:平成26年度診療報酬改定の影響と看護管理者に
期待されるもの
講 師:東京都看護協会会長 嶋森 好子 氏
参加者212名

(2) 第2回 平成27年2月21日(土)

テーマ:東京都における地域包括システムの実現に向けて
-地域における看護管理者の連携を推進する
講演 ①:在宅療養の推進-東京都の取り組み
講 師:東京都福祉保健局医療政策部地域医療担当課長
新倉 吉和 氏
講演 ②:病院の地域包括ケアへの参画
地域包括ケア病棟の開設等
講 師:JCHO企画経営部地域包括推進課長
石原 美和 氏
参加者138名

テーマ:日本における看護実践法、看護教育システム、
病院における看護提供方式、認知症を含む高齢者医療・
福祉・介護システム
訪問先施設:介護老人保健施設メディケアイースト
順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター
東京慈恵会医科大学附属病院、日本看護協会
2) 総会・学会における講演会
総会 特別講演
テーマ:チーム医療とは何か
-チーム医療の現実、そしてこれからの可能性について-
講 師:細田 満和子 氏(星槎大学 副学長)

4 各職能の専門性向上のための事業

1) 職能交流会の開催

開催日:平成26年8月9日(木)
会 場:東京都看護協会会館
参加者72名

- (1) 各職能別交流会
- (2) 三職能合同講演交流会

特別講演

テーマ:健康格差
講 師:近藤 克則 氏
(千葉大学予防医学センター教授、日本福祉大学客員教授)

2) 准看護師交流および情報提供事業

(1) 交流会の開催
研修会&交流会
開催日:平成27年2月19日(土) 参加者87名
場 所:東京都看護協会会館
テーマ:准看護師制度問題をめぐる現状と
取り組みについて
~全国准看護師制度担当役員会議報告~
講 師:東京都看護協会准看護師理事 東須美江氏

テーマ:知って得する 感染予防対策!
講 師:東京北医療センター感染管理認定看護師
前多 香氏

(2) 進学支援

「看護師学校養成所2年課程」への進学支援
進学情報の提供(説明会開催)
開催日:平成26年7月5日(土)
場 所:東京都看護協会会館
参加者39名

3) 新しい看護の役割拡大に関する情報収集と発信

5 広報活動に関する事業

1) あらゆる機会を使ったタイムリーな情報発信

- (1) 広報誌の発行(※共益事業)
 - ① 会員向け「看護とときょう」
最新の医療看護情報や協会活動についての情報発信と
会員相互が交流を図れる会報誌づくり
・発行期日:①4/20 ②7/20③10/20 ④1/20 A4判20頁
・発行部数:①②③④は約46,000部(各会員に1部)
 - (2) 卒業前看護学生へ専門職能団体の役割等を紹介するための
パンフレットの配布、協会活動の紹介(6,070部)
 - (3) ホームページの充実
会員、協会双方向で使いやすいホームページの活用検討・推進
訪問数144,985名、総アクセス数4,111,980件(H27.3.13 現在)
 - (4) ガイドンス:Tokyo Nursing Association

Ⅲ 看護職の人材確保と定着推進に関する事業〔定款第4条(3)〕

1 就労促進と働きやすい職場環境改善支援に関する事業

- 1) 無料職業紹介(ナースバンク飯田橋・立川)
年間就業者数 2月末現在 1,751名
東京(週6日:月曜日～土曜日)
立川(週5日:月曜日～金曜日)
(1)利用者ニーズに応じた再就業支援
①「eナースセンター」の活用による再就業支援
②プランニングシートを活用した相談内容の充実
③ミニ就業相談コーナーの実施
東京 週5日間(月曜日～金曜日) 立川 週2日間(火曜日・木曜日)
2月末現在 参加施設 269施設 参加者207名
④ふれあいナースバンク(再就職相談会)の実施
東京・立川にて年7回実施
東京・立川にて年7回開催 2月末現在 参加施設176法人、
参加求職者数406名
⑤看護技術の再学習・再確認:ビデオ・体験コーナーの
周知と充実(ナースバンク立川)
2月末現在 参加者128名(就業中49名 未就業79名)
⑥確実な再就業者数の把握
⑦人材確保・定着のためのセミナー、
セカンドキャリア研修等の開催 年3回
⑧東京労働局・ハローワーク・区市町村等との連携強化
相談事業の継続・拡大。求人・求職情報の共有・活用
*1月からハローワークとの連携モデル事業開始
2月末現在 相談件数9件
- 2) 合同就職相談会(看護職就職応援フェア)開催
開催日:平成26年5月31日 都庁5階大会議室
参加施設60法人 参加者124名
- 3) 看護職員地域確保支援事業:潜在看護職を対象に復職を支援する
31病院で実施 2月末現在 受講者数241名
- 4) 看護職員確保に向けた取組み支援事業
43施設 合計訪問回数364件
人材確保が困難な200床未満の病院を対象。
就業協力員が巡回訪問し、勤務環境や新人看護職員研修体制・
院内教育体制構築の支援やサテライト研修・共通課題研修を実施
支援内容:教育研修、働きやすい職場づくり、委員会活動、
業務改善、職員募集等
サテライト研修・共通課題研修-実施医療圏 5箇所
研修内容:看護記録・中途採用者教育・コミュニケーション・
スキル・暴言暴力の対応等
- 5) 訪問看護人材確保事業(東京都委託事業)
①訪問看護フェスティバルの開催
開催日:平成27年1月10日(土) 参加者368名
場 所:東京都庁第一本庁舎5階大会議場
②訪問看護に関する情報提供のためのパンフレット、グッズ等の作成・配布
- 6) ワーク・ライフ・バランス(WLB)推進事業
看護職の働く環境の改善・整備のための支援を行うことで看護職の
定着・離職防止を目指す取り組み
(1)WLB推進ワークショップの開催
開催日:平成26年9月11日(木)、12日(金)
参加施設5施設 21名
WLBインデックス調査の実施、アクションプラン立案・実践の支援
フォローアップワークショップの開催

開催日:平成27年2月5日(木) (公開)参加施設10施設 30名
WLBインデックス調査の推進と支援
参加施設20施設4,342名 回収数3,874 回収率89.2%
(2)労働環境改善のための支援

2 研修事業

- 1) 就業意欲を高める研修
- 2) 定着促進・資質向上にむけた研修
- 3) 訪問看護師・実習指導者のための研修(再掲)
- 4) 再就業支援研修
受講者はふれあいナースバンクへの参加を促す等、
研修とナースバンク及び就業協力員と連携強化
50科目 108回 265.5日
受講者 4,139名(平成27年2月末現在)

3 普及啓発事業

- 1) ナースプラザの情報発信
ホームページ、メールマガジン、ポスター、事業案内パンフレット、
新聞広告・インターネット広告等の活用による情報発信
- 2) 「看護の魅力」普及啓発の推進
(1) 情報誌「やっぱり看護が好き」の発行(2回/年)
(2) 高校生・中学生・社会人の一日看護体験学習の実施(7月～8月開催)
高校生、中学生、社会人の参加
実施施設 290施設、体験者 1,173名
(3) 高校3年生対象とした一日看護体験学習の実施(5月)
実施施設 72施設、体験者 219名
(4) 看護学校進路相談
- 3) ふれあい看護体験の支援
対象:教育等の一環として企画された団体
実施施設15施設、体験者42名
- 4) 「看護フェスタ」の開催 - 「看護週間」における行事
開催日時:平成26年5月17日(土)12:00～16:00
開催場所:新宿駅西口広場イベントコーナー
内 容:多職種チームによる健康チェック、健康相談、
介護相談、栄養相談、薬相談、口腔ケア相談、
就業相談、進路相談等、ミニ講座、看護関連情報、
訪問看護の紹介等
参加団体 12団体 参加者1,149名 延べ5,536名

Ⅳ 在宅ケアの推進と支援に関する事業〔定款第4条(4)〕

1 訪問看護居宅介護支援事業等

- 1) 千駄木訪問看護ステーション
(1) 訪問看護
年間訪問回数 4,982回(2月末現在)
医療保健適用 1,602回
介護保険適用 3,380回
年間利用者数 912人
(2) 居宅介護支援
訪問調査 11件
ケアプラン作成 228件
(3) 関連機関との情報交換と連携
文京区訪問看護ステーション連絡会(隔月)
文京区地域ケア会議(3回/年)
文京区医師会学術集会(1回/年)
文京区看護職交流会(4回/年)
居宅支援事業ネットワークの会(4～5回/年)
精神疾患支援者実務者連絡会(4回/年)

- (4) 看護学生及び看護職研修生の受け入れ
看護学生(3年課程・4年課程):6校 延べ138名
ナースプラザ研修受講生:1名(2日間)
訪問看護研修ステップ1:1名
在宅療養支援員養成研修:1名
一日看護体験:2名
退院調整看護師養成研修:1名

2) 城北訪問看護ステーション

- (1) 訪問看護
年間訪問回数 3,124回
医療保健適用 1,352回
介護保険適用 1,772回
年間利用者数 552人
(2) 関連機関との情報交換と連携
練馬区主催事例検討会での事例発表
練馬区主催「病院への訪問看護出前講座」に講師として参加
練馬区・練馬区ステーション連絡会・光が丘ブロック等の
会議への定例参加
練馬区・練馬区ステーション連絡会・光が丘ブロック等の
研修会に職員が積極的に参加
(3) 看護学生及び看護職研修生の受け入れ
看護学生(3年課程・4年課程):3校 延べ150名
ナースプラザ研修受講生: 2名(2日間1名、3日間1名)
訪問看護研修ステップ1:1名
在宅療養支援員養成研修:1名
一日看護体験:なし

2 在宅ケアの充実に向けた看護連携の推進

1) 訪問看護師の育成と在宅ケアの充実に向けた支援

- (1) 訪問看護師の養成研修、リーダー研修、実習指導者研修
・訪問看護e-ラーニングを活用した教育支援
eラーニング平成26年7月16日～12月15日
訪問看護実習(5日間)平成27年2月～3月
eラーニング修了者28名(内実習修了者14名)
(2) 医療機関看護職に向けて、在宅療養支援の実際、訪問看護・
居宅介護に関する情報の提供
(3) 訪問看護人材確保事業(東京都委託事業)
・訪問看護フェスティバル (再掲)
・情報提供のためのDVD、リーフレット、グッズ等の作成・配布

2) 東京訪問看護ステーション協議会との連携

- (1) 訪問看護に関する課題の共有と共催事業の実施
・訪問看護ステーション協議会との連携会議
・研修会や訪問看護に関するイベント等の共催

3) 高齢者・福祉関連施設の看護の充実とネットワークづくり

- (1) 高齢者施設、介護福祉関連施設の看護職に必要な研修会の実施
・高齢者ケア、高齢者の看取り、現場に活かすコミュニケーションなど
(2) 交流会・研修会等を通し、ネットワークづくりを推進する
地区別高齢者ケア施設の看護管理者交流会
開催日:平成26年11月12日 参加者85名

4) 医療機関から在宅療養へのスムーズな移行支援

- (1) 医療機関と在宅・福祉関連施設のネットワークづくり
(2) 東京都在宅療養支援員養成研修および
フォローアップ研修 (東京都委託事業)
在宅療養支援員養成研修 東京都看護協会会館にて
平成26年7月3日(木)～7月23日(火)(内7日間) 参加者56名
在宅療養支援員フォローアップ研修
平成26年10月21日(火) 参加者30名

- (3) 東京都在宅療養支援員育成事業(東京都委託事業)
教育プログラムの作成

- 5) 東京都や関連団体・日本訪問看護財団、全国訪問看護事業協会との連携

Ⅴ 地域住民の保健福祉に関する事業〔定款第4条(5)〕

1 地域住民の健康支援に関する事業

1) 次世代育成支援活動

- (1) 両親学級 毎月第2・第4土曜日に開催
内 容: 妊娠分娩の経過と過ごし方、育児支援
参加者575組(2月現在)
- (2) すくすくフェスタ
両親学級受講の親子を対象に、育児相談、栄養相談、
ベビーマッサージ、遊ばせ方等を実施
開催日:平成26年10月18日(土) 参加者40組
(3) とうきょうマタニティーフェスティバル(東京都助産師会と連携)
開催日:平成26年11月9日(土) 参加者68名
(4) 出前授業-町田市立つし野中学校
開催日:平成27年3月12日(木) 受講者中学3年生 287名
(5) 子育て支援事業運営委員会による学習会開催
開催日:平成27年2月19日(木)
テ ー マ:「産婦人科診療ガイドライン産科編2014」の
理解を深めよう!
講 師: 峰岸 一宏 氏(慶應義塾大学病院産婦人科学教室)
参加者91名

2) 地域住民健康支援活動

- (1) まちの保健室-老人月間行事および定期的開催
① 6地区支部毎に独自で開催
全実施回数53回 総参加者数1,913名
② 他関係団体との連携・協力
場 所: 銀座三越、神楽坂六丁目商店街、牛込消防署など
内 容: 健康チェック、健康・介護相談、
育児等に関する相談会 等
参加者数1,670名
(2) 東京都及び関係団体と協働による健康づくり
① 看護フェスタ(再掲)
② 禁煙指導(受動喫煙防止)
③ NPO法人「仕事と子育て」カウンセリングセンター主催イベント
④ 東京マラソン救護活動支援(救護スタッフ派遣)
(3) 感染症予防対策事業
① 感染症予防に関する情報提供および啓発活動
場 所: 平成26年6月7日(土) 参加者94名
テ ー マ: 結核の接触者健診のマネジメントを学ぶ
講 師: 墨田区保健所 松本 加代 氏
国立国際医療研究センター 高崎 仁 氏
感染対策委員 塚田真弓氏・芝田真由美氏
開催日:平成26年11月8日(土) 参加者69名
テ ー マ: 結核の接触者健診のマネジメントを学ぶ
講 師: 中央区保健所 杉下由行氏
国立国際医療研究センター 森野 英里子 氏
感染対策委員 板林 恵子 氏・石井 幸 氏
開催日:平成26年9月20日(土) 参加者86名

- テーマ：医療安全・感染管理としての予防接種
講師：国立国際医療研究センター 竹下 望 氏
感染対策委員 堀 成美 氏・縣智 香子 氏・
前多 香 氏・塚田 真弓 氏
開催日：平成26年11月9日(日) 参加者13名
- テーマ：輸入感染症に備えるための感染管理研修
～インストラクター研修～
講師：国立国際医療研究センター 大曲 貴夫 氏
感染対策委員 堀 成美 氏・塚田 真弓 氏
演習指導：黒須 一見 氏・杵木 優子 氏
開催日：平成26年11月9日(日) 参加者59名
- テーマ：輸入感染症に備えるための感染管理研修
～第1回ICN研修～
講師：国立国際医療研究センター 大曲 貴夫 氏
感染対策委員 堀 成美 氏・塚田 真弓 氏
演習指導：黒須 一見 氏・杵木 優子 氏・インストラクター5名・
感染対策委員5名
開催日：平成26年11月14日(金) 参加者51名
- テーマ：輸入感染症に備えるための感染管理研修～第2回ICN研修～
講師：都立墨東病院 岩淵 千太郎 氏
感染対策委員 堀 成美 氏・芝田 真由美 氏
演習指導：黒須一見氏・杵木優子氏・佐藤香里奈氏・感染対策委員6名
- ② 性感染症予防対策
東京都エイズ・ピア・エデュケーション事業
-エイズの正しい知識並びに予防行動の普及啓発を図るための支援
19回 受講者1,426名
- 3) 健康に関する啓発事業 都民公開講座の開催(看護師職能I・II企画)
開催日：平成27年2月7日(土) 参加者117名
テーマ：「自分で決める人生最後の終い方-尊厳ある命を全うするために」
講師：三浦 靖彦 氏
(東京慈恵医科大学附属柏病院 総合診療内科 講師)
講師：渡邊 敏江 氏
(東京女子医科大学病院 内科 非常勤講師)

4) ふれあい看護体験等の支援(再掲)

2 災害時の看護支援活動に関する事

- 1) 災害支援ナースの育成と支援活動
災害対策委員会を中心に支援ナースの養成、登録更新研修を実施
- (1) 災害支援ナースの養成研修
第1回目 平成26年9月12日(月)
第2回目 平成26年11月13日(木) 養成数92名
- (2) 災害支援ナース登録更新研修
第1回目 平成26年8月8日(金)
第2回目 平成27年1月23日(金) 登録更新数70名
- (3) 災害支援ナース登録再更新研修
第1回目 平成26年7月28日(月)
第2回目 平成27年2月13日(金) 登録再更新数32名
- 2) 災害発生時に備えての体制・環境整備
- (1) 東京都及び他の関連機関とのネットワーク体制の整備
二次保健医療圏単位の地域災害医療体制、
区市町村医療救護活動体制の周知
地区支部との連携による協会支援体制の検討
- (2) 災害発生時対応シミュレーション・訓練の実施
日本看護協会主催 災害支援ナース派遣調整合同訓に参加
平成26年9月2日～4日 参加病院数58施設(対象者数217名)
- (3) 近隣への支援体制の構築
- ① 神楽坂地域の「震災時等における救護訓練」参加
平成26年12月2日(火)

VI その他この法人の目的を達成するために必要な事業〔定款第4条(6)〕

1 組織強化

- 1) 会員拡大
- (1) 新人看護師に対する加入推進
看護管理者及び教育責任者への呼びかけ
- (2) 未加入者施設への加入促進 -協会活動のPR・施設訪問
- (3) 看護学生への協会活動のPR
-看護学生看護研究会でPR、入学式、卒業式祝電
卒業前学生への情報提供と入会の勧め、広報誌の配布

2 円滑な組織運営

- 1) 組織運営のための諸会議開催と連携
- (1) 総会開催
開催日：平成26年6月26日(木) 於：日本教育会館431名
- (2) 理事会 年8回開催
- (3) 常任理事会 年12回開催
- (4) 各委員会
- 2) 地区支部との連携強化
- (1) 地区理事連絡会議による情報交換・活動支援
あらたな地区編成による地区活動の実施
- 3) 協会事務局の体制整備および効率的な運用
- (1) 組織内部の仕組みづくりや諸規程等の見直し整備
- (2) 情報システム更新
研修システム、会議支援システム、会員管理システム
- (3) 内部職員的能力を高める研修の実施 平成27年2月25日(水)
- (4) 外部研修参加の推進
- 4) 協会内防災対策の整備
- (1) 防災マニュアルの改訂および周知
- (2) 防災訓練の実施(4月、10月)
消防訓練 第1回目 平成26年4月24日(木)
第2回目 平成26年10月1日(水)
- (3) 協会内の防災設備および防災物品の整備
- (4) 食料・飲料水等の備蓄(発災から72時間分確保)

3 関連機関との連携と政策提言に関する事業

- 1) 公益社団法人日本看護協会との連携
- (1) 日本看護協会諸会議への参加
通常総会、職能別交流集会参加
開催日：平成26年6月10日(火)～12日(木)愛知
- (2) 看護職のための各種事業等への協力・支援
- 2) 他団体等関連機関との情報交換と連携
- (1) 政策執行機関への要望書の提出
・平成27年度看護関係国家予算及び東京都予算に関する
要望書提出
- (2) 東京都及び関連団体の役員・委員としての参加
- (3) 外部団体からの共催、後援依頼等に関する事項

4 施設の貸与事業

- 1) 会員及び他団体主催の看護に関する研修や会議等の開催を支援

5 新会館建設計画

- 1) 建設地の選定と取得への取組
一括事業提案者からの提案候補地について選定委員会にて
審査し候補地の選定、取得に向けて取り組んだ。

平成27年度 事業計画

【事業運営方針】

平成27年度は、定款に掲げる6つの事業の実施にあたり、下記の3点に重点をおき、取り組むこととする。

1. 地域包括ケアシステム構築の推進
高齢化の進展により医療は病院から地域・在宅への地域完結型へと変化し、医療・介護サービスの提供体制の一体的な確保にむかっている。認知症高齢者等の要援護高齢者対策、多職種連携、訪問看護の強化等、医療と介護の連携と地域包括ケアを推進する取組みを強化する。
2. 看護職の資質の向上、人材育成
上記の取組みを推進するためにも、急性期から在宅のどの場にあっても専門性に基づき適切な判断や対応ができる人材の育成が重要である。看護職の資質の向上を図るための教育や施策を通し、専門職としての良い人材が育つよう支援する。
3. 看護職の確保定着
病院・施設や在宅・地域およびへき地の医療・介護現場で働く看護職が健康・安全で働き続けられるよう勤務環境改善を支援するとともに届出制度を利用した就業支援を推進し看護職の潜在化防止、定着を支援する。

I 看護職の資質の向上に関する事業〔定款第4条(1)〕

看護職が日々高度化する看護業務に従事する為、加えて看護を提供する多くの場面に必要な学習として継続的に実施する教育である。専門職としての基礎的知識・技術、医療の質と安全の確保、5疾病5事業対策、管理・リーダーシップ能力等の向上を目指した研修、高齢社会を見据えた研修を実施する。

1. 継続教育の実施に関する事業

- 1) 実務実践能力の向上に関する研修
- (1) 看護実践研修I } 一般研修
(2) 看護実践研修II } (日看協インターネット研修含む)
(3) 教育・指導研修 } 91研修
(4) マネジメント研修 }
- (5) ①訪問看護師育成基本コース:31日間・定員30名(ナースプラザ研修)
②訪問看護研修ステップI e-ラーニング研修:30名
- (6) 職能別(保健師・助産師・看護師・准看護師)
- (7) トピックス(オンデマンド研修含む)
- (8) 地区支部研修
- 2) 実務実践マネジメント能力の向上に関する研修
- (1) 認定看護管理者教育課程
ファーストレベル 第1回目 第2回目
定員70名 7科目 150時間
セカンドレベル
定員30名 5科目 180時間
サードレベル
定員30名 5科目 180時間
- (2) 医療安全管理者の育成
医療安全管理者養成研修：定員90名 40時間(7日)
- 3) 看護教育実践能力の向上に関する研修
- (1) 東京都新人看護職員研修責任者・教育担当者研修(東京都受託事業)
1日間 定員150名 4回
- (2) 実習指導者研修40日間・定員75名 3回(ナースプラザ研修)
- 4) 教育・研修計画の配付:会員および会員・非会員施設に送付

2. 各職能の専門性向上のための事業

各職能の専門性向上のための研修を実施する。

- 1) 各職能の実践能力向上や機能強化のための研修や指針等の周知・普及
- (1) 保健師
・産業保健新人保健師研修
・地域包括ケアにおける保健師の役割に関する研修
・平成26年度研修のフォローアップ研修
- (2) 助産師
① 研修・学習会
・新人助産師研修-母乳育児支援
・産科管理者交流会-院内助産
・両親学級協力員学習会
② 助産師出向支援導入事業-助産師実践能力強化
(新規:東京都受託事業)
- (3) 看護師(I・II)・准看護師
・セカンドキャリアに関する情報提供

- 2) 認定看護管理者・専門看護師・認定看護師(以下、認定看護職)の活動支援
- (1) 認定看護職活動支援
- (2) 認定看護職研修会の開催

3. 学会開催

看護実践に根ざした看護研究の支援や看護職の学術研究振興のために、看護研究会を開催する。

- 1) 看護学生看護研究会
開催日時:平成27年12月4日(金)12:00～16:15
場 所:文京シビックホール
内 容:口演発表、示説発表、特別講演、学生交流ひろば
- 2) 看護研究会
開催日時:平成28年1月23日(土)10:00～16:00
場 所:日本教育会館
内 容:口演発表、示説発表、特別講演、シンポジウム、
看護用具創意工夫

4. 看護研究助成

- 1) 看護研究のレベルアップを図るための支援(※共益事業)
 - (1) 先駆的研究助成: 1件30万円を限度に3件以内
 - (2) 看護実践の向上や改善に役立つ取り組み: 1件3万円を5件以内

5. 図書室の運営

看護分野における専門図書室として、関係図書資料及び看護文献に関する資料の収集を図り、利用者が必要とする情報の提供を迅速に行う。

- 1) 図書室の効率的な運営と管理機能の適正化 Web検索の迅速化
- 2) 蔵書の充実

6. その他看護職の資質向上に関する事業

国内外の視察・見学等を企画・運営するとともに他国からの視察要請等に対応する。また、総会・学会等の場を活用し、看護職への最新情報や知見を提供する。

- 1) 国際学会
 - (1) 2015年国際看護師協会(ICN)学術集会
6/19～23大韓民国・ソウル
 - (2) 2015年第11回アジア太平洋地域会議・助産学術集会
7/20～22 日本 パシフィコ横浜
- 2) 総会・学会における講演会

7. 教育研修実績集の作成

- 1) 看護職の資質の向上に関する事業の集録 (教育部)

II 看護業務の開発・改善及び情報提供に関する事業〔定款第4条(2)〕

看護に係る調査・研究による最新情報の発信、看護職の役割変化等に関連した看護業務の開発・改善・普及啓発、および医療安全や看護に関する新しい知見等の情報提供を行うとともに課題提言を行う。

1. 看護業務の開発・改善に関する事業

- 1) 看護業務の開発・改善に資する各種調査の実施
- 2) 資料の収集、データの蓄積
- 3) 業務改善・開発及び政策提言のための資料の作成

2. 医療安全推進事業

医療の質と安全確保のための情報提供を行う

- 1) 医療安全推進のための都民公開講座
「医療安全フォーラム」の開催
開催日 平成27年11月28日(土) 場所: 東京都看護協会
- 2) 医療安全相談窓口の紹介
- 3) 医療安全関連情報の提供

3. 看護管理者・教育責任者交流事業

- 1) 講演会・交流会の開催
第1回目: 平成27年9月5日(土) 予定 場所: 東京都看護協会
第2回目: 平成28年3月12日(土) 予定 場所: 東京都看護協会
- 2) 情報提供

4. 各職能に関連する情報提供と交流事業

各職能が交流することで、保健・医療・福祉に関する最新の知見や各職能の課題について情報交換・情報共有し、看護職の専門性強化や社会への課題提言を行う。

- 1) 職能交流集会の開催
開催日時: 平成27年7月25日(土) 13:00～16:30
場所: 東京都看護協会会館

内容: (1) 各職能の活動についての情報共有
(2) 三職能合同講演会・シンポジウム

2) 准看護師交流および情報提供事業

- (1) 交流会の開催
- (2) 進学支援
・「看護師学校養成所2年課程」への進学支援
進学情報の提供(説明会開催)平成27年7月初旬
場所: 東京都看護協会会館

3) 新しい看護の役割拡大に関する情報収集と発信

・特定行為に係る看護師研修制度について

5. 広報活動に関する事業

看護職および都民に対して協会活動・事業案内・医療情報・看護情報・看護職の意見等様々な情報を提供する。

1) あらゆる機会を使ったタイムリーな情報発信

- (1) 広報紙の発行 (※共益事業)
 - ① 会員向け「看護とうきょう」
最新の医療看護情報や協会活動についての情報発信と
会員相互が交流を図れる会報誌づくり
・発行期日: ①4/20 ②7/20③10/20 ④1/20 A4判20頁
・発行部数: ①②③④は約50,000部(各会員に1部)、
 - ② 都民に向けた情報提供
都民にむけ、健康情報等の提供や看護活動を紹介する。
- (2) 卒業前看護学生へ専門職能団体の役割等を紹介するためのパンフレットの配布、協会活動の紹介
- (3) ホームページの充実
会員へのホームページの活用方法の周知、活用推進
- (4) ガイドンス改訂: Tokyo Nursing Association

III 看護職の人材確保と定着推進に関する事業〔定款第4条(3)〕

都内の看護職の確保および定着の他、看護の普及啓発を図る取り組みを行う。

1. 就労促進と働きやすい職場環境改善支援に関する事業

- 1) 無料職業紹介(ナースバンク) (飯田橋・立川)
 - (1) 利用者ニーズに応じた再就業支援
 - ① 「eナースセンター」の活用による再就業支援
 - ② プランニングシートを活用した就業支援の充実
 - ③ 就業機会促進の場の提供(求人施設とのマッチング)
・ミニ就業相談コーナーの実施
・ふれあいナースバンク(再就職相談会)の開催
 - ④ 看護技術の再学習・再確認
ビデオ・体験コーナーの活用についての周知と充実
(ナースバンク立川)
 - ⑤ 再就業者数の正確な把握
 - ⑥ 人材確保・定着のためのセミナー、研修等の開催 年2回
 - ⑦ 東京労働局・ハローワーク・区市町村等との連携強化
相談事業の継続・拡大。求人・求職情報の共有・活用
 - 2) 届出制度を活用した看護職員復職支援事業
退職時のナースセンター登録努力義務化の推進
地域密着型の就職相談会の開催
 - 3) 看護職員地域確保支援事業; 潜在看護職を対象に復職を支援する。
*地域就業支援病院の募集

- 4) 東京都看護職員定着促進のための巡回訪問事業
200床未満の病院を対象に、就業協力員が巡回訪問し、勤務環境や新人看護職員研修体制・院内教育体制構築やサテライト研修等の取り組みへの支援を行う。

5) 訪問看護人材確保事業(東京都委託事業)

- ① 訪問看護フェスティバルの開催
開催日: 平成28年1月16日(土)
場 所: 東京都庁第一本庁舎5階大会議場
- ② 訪問看護に関する情報提供のためのパンフレット、グッズ等の作成・配布

6) 島しょ看護職員確保定着促進事業

- (1) 出張研修
- (2) 短期代替看護職員派遣

7) ワーク・ライフ・バランス(WLB)推進事業

看護職の働く環境の改善・整備のための支援を行うことで看護職の定着・離職防止を目指す取り組み

- (1) WLB推進事業
WLBインデックス調査の実施
WLB推進研修の開催
開催日: 平成27年9月16日(水)
- (2) 労働環境改善のための支援
- (3) 出産・育児による離職防止
「仕事と子育て」セミナーの開催

2. 研修事業

- 1) 就業意欲を高める研修
- 2) 定着促進・資質向上にむけた研修
- 3) 訪問看護師・実習指導者のための研修(再掲)
保健師助産師看護師実習指導者研修(特定分野7日間)
- 4) 再就業支援研修
受講者はふれあいナースバンクへの参加を促す等、
研修とナースバンクの連携強化
※セカンドキャリア研修の開催 年1回

3. 普及啓発事業

看護職及び一般市民に看護に関する関心と理解を深めてもらえるよう、看護の魅力や重要性を伝えるための取り組みを行い、看護職をめざす人材を確保する。

1) ナースプラザの情報発信の推進

- (1) 主に求人・求職のための情報発信
・ホームページの運営、メールマガジンの配信
- (2) 事業案内・ポスター、パンフレット等作成・配布
- (3) 新聞広告・インターネット広告等の活用

2) 「看護の魅力」普及啓発の推進

- (1) 情報誌「やっばり看護が好き」の発行(2回/年)
- (2) 高校生・中学生・社会人の一日看護体験学習の実施(7～8月開催)
- (3) 高校3年生対象とした一日看護体験学習の実施(5月)
- (4) 看護学校進路相談

3) ふれあい看護体験の支援

対象: 教育等の一環として企画された団体、学校等

4) 「看護フェスタ」の開催 - 「看護週間」における行事

- 開催日: 平成27年5月16日(土)
場 所: 新宿駅西口広場イベントコーナー
内 容: 多職種チームによる健康チェック、健康相談、介護相談、栄養相談、薬相談、口腔ケア相談、就業相談、進路相談、ミニ講座、看護関連情報、訪問看護の紹介等
*参加者へ記念グッズ配布

IV 在宅ケアの推進と支援に関する事業〔定款第4条(4)〕

地域住民が住み慣れた地域で安心して生活できるように、在宅・介護福祉施設等の看護の機能を強化するとともに地域の関係機関との連携を図り、在宅ケアを推進する。

1. 訪問看護・居宅介護支援事業等

公益社団法人の訪問看護事業として、専門性を活かし医療依存度の高い人や、管理の難しい器具等を利用している人、新興感染症に罹患した人など、対応困難として依頼された利用者を受け入れるとともに、看護学生や看護体験者の実習を受け入れ、看護職および訪問看護師の育成を支援する。

1) 千駄木、城北訪問看護ステーションの運営

- (1) 訪問看護事業
- (2) 居宅介護支援事業
- (3) 居宅療養管理指導事業
- (4) 関連機関との情報交換と連携
訪問看護サービス事業者、訪問看護ステーション、
病院・介護施設、行政等
- (5) 看護学生及び看護職研修生の受け入れ
 - ① 看護学生(3年課程・4年課程)
 - ② 訪問看護師育成研修受講生
 - ③ その他

2. 地域包括ケアシステム構築の推進

地域包括ケアシステム構築の推進に向けた取り組みを行う。医療・介護連携、多職種連携の推進と訪問看護や高齢者ケア施設の看護の充実を図るため、それらに携わる看護職の資質向上のための研修やネットワークづくりを支援する。また、他の関連団体との連携を図り、地域包括ケアシステム構築に向けた情報を提供するとともに在宅ケアの充実のための支援を行う。

1) 在宅ケアの充実に向けた看護連携の推進

- (1) 訪問看護師の育成と在宅ケアの充実に向けた支援
 - ① 訪問看護師の養成研修、リーダー研修、実習指導者研修、訪問看護e-ラーニングを活用した教育支援
 - ② 医療機関看護職に向けて、在宅療養支援の実際、訪問看護・居宅介護に関する情報の提供
 - ③ 訪問看護人材確保事業(東京都委託事業)
・訪問看護フェスティバル(再掲)
・情報提供のためのリーフレット、グッズ等の作成・配布
- (2) 東京訪問看護ステーション協議会との連携
 - ① 訪問看護に関する課題の共有と共催事業の実施
・訪問看護ステーション協議会との連携会議
・研修会や訪問看護に関するイベント等の共催
精神科訪問看護算定要件研修
平成27年4月11日(土)18日(土)19日(日)3日間
 - ③ 高齢者・福祉関連施設の看護の充実とネットワークづくり
 - ① 高齢者施設、介護福祉関連施設の看護職に必要な研修会の実施
・高齢者ケア、高齢者の看取り、現場に活かすコミュニケーションなど

2) 地域包括ケアシステム構築推進に向けた情報提供および他職種連携

- (1) 医療機関から在宅療養へのスムーズな移行支援
 - ① 医療機関と在宅・福祉関連施設のネットワークづくり
地区における看護職のネットワークづくりの推進
 - ② 東京都在宅療養支援員養成研修、及びフォローアップ研修 (東京都受託事業)
 - ③ 東京都在宅療養支援員育成事業(東京都受託事業)研修会の開催
- (2) 地区支部との連携と看護職の活動支援
- (3) 東京都や関連団体・日本訪問看護財団、全国訪問看護事業協会等との連携

V 地域住民の保健福祉に関する事業 〔定款第4条(5)〕

地域住民の健康維持・増進の普及啓発を図るための取り組み

1. 地域住民の健康支援に関する事業

1) 次世代育成支援活動

(1) 「両親学級」

対象：妊娠中の妊婦と配偶者 毎回25組
開催日：毎月第2・第4土曜日13:00～15:00
内容：妊娠分娩の経過と過ごし方、育児支援

(2) 「すくすくフェスタ」

対象：両親学級受講の親子
内容：育児相談、栄養相談、ベビーマッサージ、遊ばせ方等 年1回

(3) 出前授業(命の大切さ、職場における母性保護など)

学校・企業等へ出張

2) 地域住民健康支援活動

(1) まちの保健室・老人月間活動(活動日は各地区で決定)

地域住民の健康意識の啓発に関する情報提供

① 地区支部による「まちの保健室」開催推進

場所：学校、区市町村公共施設、駅等
内容：健康チェック、健康・介護相談等

② 他関係団体への協力

場所：神楽坂六丁目商店街、牛込消防署、銀座三越など
内容：健康チェック、健康・介護相談等

(2) 東京都及び関係団体と協働による健康支援

① 看護フェスタ(再掲)

② 受動喫煙防止 卒煙サポーター研修

開催日：平成27年6月7日(日)

③ 東京マラソン救護活動支援(救護スタッフ派遣)

④ 卓球を通して健康寿命に貢献する会

(3) 感染症予防対策事業

① 感染症予防に関する情報提供および啓発活動

② 性感染症予防対策

* 新型インフルエンザ等、新興・再興感染症発生時の対応(情報提供や相談対応など)

* エイズ対策と一体化した性感染症予防対策活動の推進(性感染症予防教育(出前授業・公開講座など))

* 東京都エイズ・ピア・エデュケーション事業

エイズの正しい知識ならびに予防行動の普及啓発を図るための支援

3) 健康に関する啓発事業

都民公開講座の開催(看護師職能I、II合同開催)

4) ふれあい看護体験等の支援(再掲)

企業・学校等の教育の一環としての体験を支援

2. 災害時の看護支援活動に関する事業

災害発生時においても住民ができるだけ健康を維持できるよう、必要な支援が可能となる看護支援体制を整備する

1) 災害支援ナースの育成と支援活動

(1) 災害支援ナースの登録推進

(2) 災害支援活動に必要な知識・技術教育

(3) 災害発生時、日看協及び他県との連携・対策等の情報交換

2) 災害発生時に備えての体制・環境整備

(1) 東京都および他の関連機関とのネットワーク体制の整備

二次保健医療圏単位の地域災害医療体制・支援体制整備への参画、区市町村医療救護活動の周知

(2) 災害発生時対応シミュレーション・訓練の実施

(3) 災害時会員施設支援のため、施設における看護師確保体制などの基礎調査

(4) 近隣への支援体制の構築

VI その他この法人の目的を達成するために 必要な事業〔定款第4条(6)〕

専門職団体として公益事業を展開するために看護職の入会を促進する。また、事業運営に必要な会議の開催や行政機関および関連団体等の活動に協力するとともに、当協会が実施する公益活動への協力を要請し、当協会の目的達成を図る。

1. 組織強化

1) 会員拡大(前年度に比し750人増を目指す)

- (1) 新人看護師に対する加入推進
看護管理者及び教育責任者への呼びかけ
- (2) 未加入者施設への加入促進
*協会活動のPR・施設訪問
- (3) 看護学生への協会活動のPR
*看護学生看護研究学会でPRを行う
*入学式、卒業式祝電
*卒業前学生への情報提供と入会の勧め
*広報紙の配布

2) 会員登録管理の効率化 新システムの導入

- 【配布資料】*ガイダンス: Tokyo Nursing Association
*看護職賠償責任保険制度
*研修行事等関係資料のお知らせ

2. 円滑な組織運営

1) 組織運営のための諸会議開催と連携

- (1) 総会 年1回 開催日:平成27年6月25日(木) 会場:日本教育会館
- (2) 理事会 年6回以上
- (3) 常任理事会
- (4) 職能委員会
- (5) 他の委員会

2) 地区支部との連携強化

- (1) 地区理事連絡会議による情報交換、活動支援
- (2) 地区支部活動の推進
新二次保健医療圏との連携を図り、保健・医療における効果的な地区活動を展開する。

3) 協会内部の効率的な組織体制の整備

- (1) 組織内部の仕組みづくりや諸規程等の見直し整備
- (2) 内部職員の能力を高める研修の実施
- (3) 外部研修参加の推進

4) 協会内防災対策の整備

- 発災時に備えて、協会内の環境整備をはかり、会館利用者ならびに職員の安全を確保する
- (1) 防災マニュアルの改訂、周知および訓練の実施 訓練年2回・4月・10月
 - (2) 協会内の防災設備および防災物品の整備
 - (3) 食料・水等の備蓄(発災から72時間分確保)

3. 関連機関との連携と政策提言に関する事業

1) 公益社団法人日本看護協会との連携

- (1) 日本看護協会諸会議への参加
- (2) 看護職のための各種事業等への協力・支援
- (3) 日本看護サミット参加・協力 開催日:平成27年9月1日 会場:国際フォーラム

2) 他団体等関連機関との情報交換と連携

- (1) 政策執行機関への要望書の提出
- (2) 東京都及び関連団体の役員・委員としての参画
- (3) 外部団体からの共催、後援依頼等に関する事項
- (4) 行政機関その他関係機関等の担当者等との情報共有の促進(本部及び各地区毎)

4. 施設の貸与事業

看護に関する専門的教育及び学術の振興ならびに地域社会への貢献を図る事を目的に実施するものについて施設の貸与を行う。

1) 看護に関連する研修等の開催の支援活動

5. 会館建替え

- 1) 建設地の確定
- 2) 会館の建替え基本設計
- 3) その他

6. 法人化30年記念事業

1) 30年史の編纂

東京都 ナース プラザ だより

東京都ナースプラザは「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、東京都の指定を受けたナースセンターとして4つの事業①ナースバンク ②研修 ③看護についての普及啓発 ④看護職員地域確保対策を行っています。

今回は研修事業についてご紹介いたします。

団塊の世代すべてが75歳を迎える2025(平成37)年には、現在より約50万人多い200万人の看護職員の就業が必要とされ、人材確保が最重要課題となっています。東京都ナースプラザはこうした社会の要請に応えるべく、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、東京都の指定を受けたナースセンターとして、「都内在住で再就職をめざす看護職の支援」と「都内中小規模施設に働く看護職員のさらなる資質向上と定着」を目的として研修を行っています。

平成27年度の研修計画は、受講希望者の方々に内容がよりわかりやすい科目名を変更したり、コース数や定員を増やすなど見直しを行いました。超高齢社会における看護職の役割はますます重要となるため、高齢者看護関連の研修を増やしました。また、在宅部門に特化して実施していた「実習指導者研修(7日間)」を、平成27年度からは保健師・助産師の分野にも対象を拡大しました。

【平成27年度 新設研修】

★高齢者看護関連研修:「高齢者の心身の理解とアセスメント」「高齢者の不眠とケア」「高齢者の排泄ケア(排尿・排便)ケア」

★最新の知見研修:「脳卒中リハビリテーション看護の実践～急性期・回復期・維持期に必要な看護のポイント～」

★今日の課題研修:セカンドキャリアセミナー「ここらと身体のアンチエイジング～イキイキと働き続けるために～」

(東京都ナースプラザ研修係 高麗美由紀)

平成27年度の研修一覧はホームページ上にも公開しています。ぜひ一度ご覧ください。

多くの看護職の皆様のご応募をお待ちしております。

東京都ナースプラザ ホームページ <https://www.np-tokyo.jp/>

なお、平成26年に【医療介護総合確保推進法】が成立し、平成27年10月から離職した看護職は「ナースセンターへの届出」が努力義務となります。個々の看護職の皆様をはじめ、施設管理者の皆様には、円滑に届出が進められますようご協力いただきたく、重ねてお願いいたします。



クレーム対応(講義)



在宅でのリハビリテーション(実技)

平成27年度 教育研修

■ 平成27年度公益社団法人東京都看護協会事業計画

- 地域包括ケアシステム構築の推進
医療・介護の連携と地域包括ケアを推進する取組の強化
認知症高齢者等の要援護高齢者対策、多職種連携、訪問看護の強化
- 看護職の資質の向上、人材育成
急性期から在宅のどの場にあっても専門性に基づき適切な判断や対応ができる人材の育成
- 看護職の確保定着
看護職の勤務環境改善支援と届出制度を利用した潜在化防止、定着支援

<医療計画「5疾病5事業」>

5疾病
がん、脳卒中、急性心筋梗塞
糖尿病、精神疾患

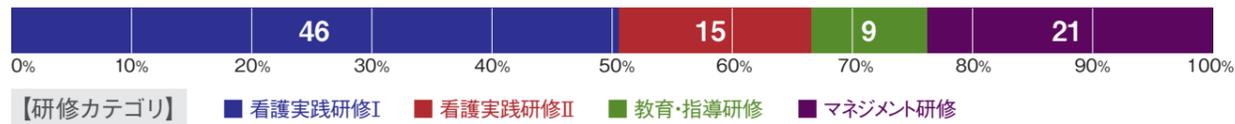
5事業
救急医療、災害時における医療
へき地の医療、周産期医療
小児医療の

■ 教育研修計画のねらい

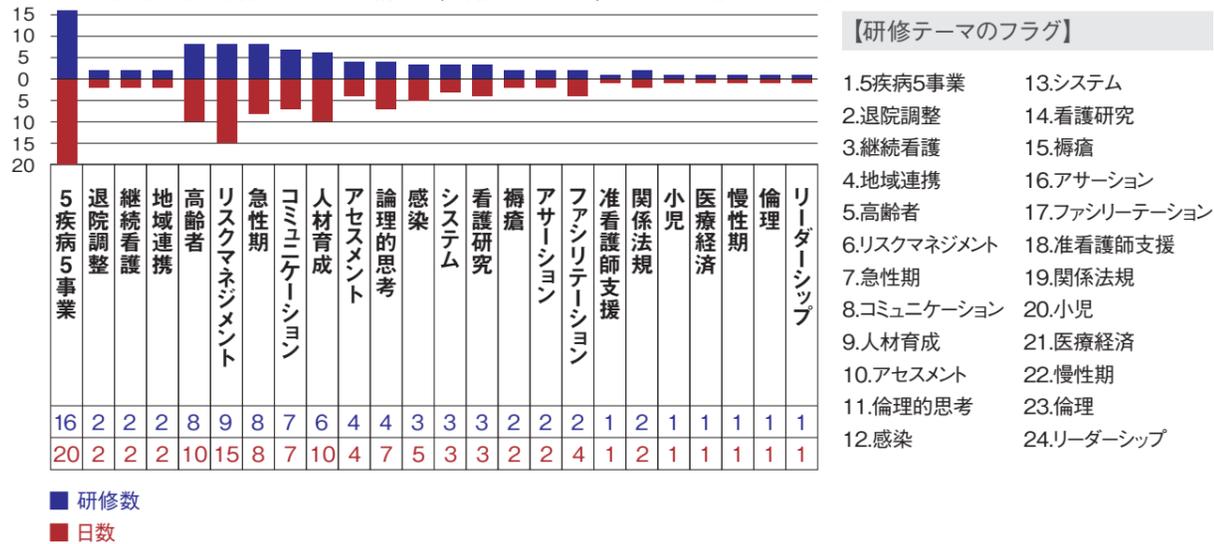
- 東京都看護協会事業と国の医療政策である5疾病5事業および在宅医療に関連した研修を継続
- 地域包括ケアの推進に向けた高齢者、退院調整、継続看護、地域連携の充実
・制度理解の拡大を意識した認定看護管理者教育課程における公開講座の開設
・他職種カンファレンスを主体的に取り組むために退院調整看護師養成研修のフォローアップ研修を新規企画
- 看護実践能力向上に対しては、広く看護の場面で必要な検査データの読み方、周術期、酸素療法を付加し、加えて、判断力を強化するためのアセスメント研修を企画
- 新米主任に加えて新米師長の管理実践能力向上を意図した研修を追加し、組織管理などマネジメント能力の強化を支援

- 一般研修：91研修
- 認定看護管理者教育課程：ファーストレベル2回・セカンドレベル1回・サードレベル1回
- 学会：看護研究学会・看護学生看護研究学会
- 東京都受託事業：「新人看護職員研修責任者等研修事業」

平成27年度一般研修 カテゴリー構成 (研修数n=91)



平成27年度一般研修 フラグ別構成 (研修数n=91) ※フラグ：研修テーマの内容を表す目印となるキーワード



※詳しくは、平成27年度 教育計画(ピンクの冊子)をご覧ください。

■ 平成27年度 新規研修項目(24項目)

カテゴリ	研修数	フラグ内訳	対象	研修タイトル
看護実践I	11	アセスメント	全ての看護職	酸素療法の作法ー原理・原則をおさようー 検査データの読み方・いかし方 [内分泌・代謝系] 検査データの読み方・いかし方 [呼吸・循環器系]
		高齢者	全ての看護職	【イブニングコース】入院時から始まるせん妄予防 高齢者のフィジカルアセスメントと高齢者に多い症状や疾患に対するケア 【日本看護協会インターネット配信研修】認知症高齢者の理解と看護【基礎編】 【日本看護協会インターネット配信研修】高齢者の終末期ケアにおける倫理的問題
		急性期	全ての看護職	術前・術後の口腔ケア 周術期看護ー麻酔が身体に及ぼす影響と輸液管理ー
		感染	全ての看護職	結核の動向を知る 知っておきたい!看護職の予防接種
看護実践II	4	退院調整	退院調整看護師養成研修受講者 全ての看護職	退院調整看護師フォローアップ研修 あなたもできる退院支援-退院調整 実践事例で学ぼう!
		地域連携	全ての看護職	地域包括ケアシステムにおける訪問看護師の役割
		アサーション	指導的立場の方	アサーショントレーニング考え方と方法ー 第2回
教育・指導	1	人材育成	教育委員・教育担当者	院内研修の評価
マネジメント	8	リスクマネジメント	看護師長以上	【サードレベル公開講座】経営管理論(危機管理「医療訴訟」)
			主任以上	多様なメンタルヘルス不調を訴える困難事例への対応
			主任以上	【セカンドレベル公開講座】施設環境のマネジメント
		論理的思考	看護師長の任について3年以内の方	新米師長のマネジメント能力ーよりよい意思決定のための思考ー
			主任以上	現状分析の方法と分かりやすい部署目標の立て方
		地域連携	看護師長以上	【サードレベル公開講座】保健医療福祉政策論(地域包括ケアシステム)
関係法規	看護師長以上	【サードレベル公開講座】経営管理論(財務管理)		
人材育成	主任以上	【ファーストレベル公開講座】人材育成の方法		

■ 平成27年度 一般研修・認定看護管理者教育課程の構成およびスケジュール

※フラグ：研修テーマの内容を表す目印となるキーワード

		5月	6月	7月	8月	9月	10月
認定看護管理者	ファースト(27日×2)						
	セカンド(32日)						
一般研修	研修数	8	11	12	10	9	13
	日数(108.5日)	14	11	15	10	9	15
一般研修	フラグ	5疾病5事業 高齢者 リスクマネジメント 急性期 アセスメント 看護研究 関係法規	5疾病5事業 5疾病5事業 退院調整 急性期 急性期 人材育成 アセスメント 論理的思考 看護研究 褥瘡 人材育成	5疾病5事業 5疾病5事業 5疾病5事業 急性期 急性期 アセスメント 人材育成 システム 看護研究 ファシリテーション 関係法規	退院調整 高齢者 リスクマネジメント コミュニケーション コミュニケーション 慢性期 リーダーシップ リスクマネジメント 感染 人材育成	5疾病5事業 5疾病5事業 高齢者 リスクマネジメント 論理的思考 褥瘡 アサーション 准看護師支援	5疾病5事業 5疾病5事業 高齢者 リスクマネジメント 急性期 急性期 急性期 コミュニケーション 人材育成 人材育成 感染 医療経済
	フラグ	継続看護 高齢者 リスクマネジメント コミュニケーション 感染	5疾病5事業 5疾病5事業 リスクマネジメント コミュニケーション システム 倫理	5疾病5事業 5疾病5事業 アサーション 人材育成 システム 小児	5疾病5事業 5疾病5事業 継続看護 コミュニケーション アサーション ファシリテーション	コミュニケーション 論理的思考	
認定看護管理者	ファースト(27日×2)						
	セカンド(32日)						
一般研修	研修数	6	7	7	6	2	
	日数(108.5日)	9	9	7	8	2	

看護研究学会を終えて

日時：平成27年1月24日(土) 10:00～16:00
会場：日本教育会館 参加者：381名

東京都看護研究学会は、平成24年から「マイタウン TOKYO Justな都市型看護をめざします」を継続テーマとし、平成26年度は「家族を支えるさまざまな看護のかたち」をサブテーマとし、超高齢社会をむかえる東京という都会での療養生活を支えていく上での課題について考えてまいりました。今年の参加者数は381名、口演・示説をあわせて39演題、看護用具創意工夫1題となり、盛会のうちに学会は終了いたしました。

シンポジウムはサブテーマである「家族を支えるさまざまな看護のかたち」を受け、小児・移植・精神の領域での事例に基づく看護実践を紹介いただきました。小児がんと心臓移植の領域では、入院治療という特別な環境で必要とされる看護ケアについて、また精神領域では地域で生活する患者・家族への関わりでの困難なことなどが話題提供され、ケアを提供する看護職のコミュニケーションスキルや病院内から地域へとつなぐことの重要性について検討されました。

交流集会では、4施設から「看護のものづくり」についての



会長あいさつ

話題提供をしていただきました。それぞれ創意工夫した点や看護用具を看護ケアに役立てている点を中心に紹介されました。また、東邦大学看護学部国際保健看護学教授の近藤麻理先生に「知財について」ミニレクチャーをしていただき、知的財産という視点からの考え方を学びました。

特別講演では、独立行政法人労働安全衛生総合研究所の高橋正也先生に「交代勤務のための上手な睡眠」というテーマでご講演いただきました。人間の睡眠についてのデータに基づく解説は大変興味深く、夜勤者の勤務時間とシフトの組み方は睡眠の観点からも重要な課題であることがわかりました。

平成26年度の看護研究学会では2025(平成37)年を迎えるにあたり、取り組むべき課題である「地域での療養生活の支援」「長く勤務できるための職務環境の改善」の両方に通じるさまざまな話題提供がありました。平成27年度も会員の皆様と活発な意見交換ができますよう企画を検討しています。ぜひ、ご参加いただけますようお願いいたします。

(学術推進委員会委員長 柳橋 礼子)



シンポジウム「家族を支えるさまざまな看護のかたち」



ランチョンセミナーI「高齢者医療におけるお笑いによるコミュニケーション」



交流集会「看護のものづくり」



ランチョンセミナーII「中高年女性のヘルスケアに寄与する植物エストロゲンの作用」



特別講演「交代勤務のための上手な睡眠」



ポスターセッション

訪問看護フェスティバル ～Only Oneの看護・めざせ訪問看護の世界～

日時：平成27年1月10日(土)
10:00～15:30
会場：東京都庁第一本庁舎5階大会議場
参加者：368名(看護職・看護学生、介護職、都民の皆様)



プログラム
10:00 開場
10:30～11:30 基調講演「自分のことは自分で決める」
講師 上野 千鶴子 氏
NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN) 理事長
12:30～14:00 シンポジウム「めざせ訪問看護の世界」
座長 嶋森 好子 氏
公益社団法人東京都看護協会 会長
シンポジスト
・なつみよう訪問看護師
椎名 美恵子 氏(訪問看護ステーションみけ 所長)
・なつみよ訪問看護師
菅原 久美子 氏(訪問看護ステーションゆうあい)
・起業してできる私の訪問看護
柴田三奈子 氏(山の上ナースステーション 所長)

14:15～15:15 こんな時どうする?訪問看護ができること
寸劇「これって認知症?訪問看護ができること」
劇団:東京訪問看護ステーション協議会の仲間たち
ミニ講座
・訪問看護で介護予防
家崎 芳恵 氏
(野村病院訪問看護ステーション 所長)
・どんな医療処置が必要な状態でも
自宅で生活するための方法
広川 直美 氏
(ナースステーション東京 目黒支店 所長)
・住み慣れた自宅で最期を迎える
宮近 郁子 氏
(フクシア訪問看護ステーション 看護部長)

・展示 介護用品…介護用ベッド、移乗用品、在宅酸素療法用品、介護用食事、水分補給の物品、口腔ケア用品等
・相談会(介護相談・進路相談・就業相談)

当日は、開場前から多くの方々が入場され、賑やかな雰囲気の開会となりました。
上野千鶴子氏は、「自らの生き方、終い方を元気なうちに考え意思表示することの大切さ」や地域包括ケアシステム構築の中での訪問看護の大切さを説明され、看護職への力強いエールをいただきました。
シンポジウムでは、訪問看護ステーションの管理者椎名氏、柴田氏からは、訪問看護の醍醐味や魅力を伝えられ、新卒1年目の菅原氏からは、訪問看護は一人で訪問しているけれどもステーションのみならず考え支え合えるチームがあるので一人ではない、教育・支援を受けながらやっていると現状を語っていただきました。東京訪問看護ステーション協議会訪問看護推進委員会の方々との寸劇は、認知症の対応を題材に、社会資源の活用方法を親しみやすくコミカルに伝えられました。
沢山の方々が、アンケートに自由記載もされており、訪問看護のことを知るいい機会になったとの評価でした。

保健師職能研修

研修名：地域包括ケアシステムにおける住民への責任と保健師活動
日時：平成27年1月31日(土) 14:00～17:00
会場：東京都看護協会 大教室
対象者：地域包括支援センター・高齢者福祉部門で働く保健師
参加者：49名(看護師含む)

<研修内容>

- 1.地域包括ケアシステムに関する基本と概要・最新情報
講師：高橋 都子氏 厚生労働省老健局振興課地域包括ケア推進官・保健師
- 2.現場発!! 保健師だからできること
講師：矢野 知恵氏 足立区地域包括支援センター千寿の郷センター長・保健師
- 3.グループワーク



グループワーク

地域包括支援センターで働く保健師の研修を5年ぶりに開催しました。
はじめに、厚生労働省老健局振興課の高橋都子氏が、高齢者や介護を取り巻く状況や地域包括ケアシステムの構築や包括支援センターの機能の強化など、基本と概要について講演がありました。後半は矢野知恵氏が足立区地域包括支援センター千寿の郷での実践報告がありました。グループワークも2回行い、各地区の現状や来年度以降の取り組みについて、活発な意見交換が行なわれました。
参加者からも「個別ケースに追われ地域全体を見る意識をなくしていました。今後地域課題を意識していきたい」と「同職種の方と話ができ有意義でした。明日からの業務に生かしたい。」などの感想がたくさん寄せられました。
今回希望者が多かったことを踏まえ、今回の内容に沿った研修を再度実施することとしました。また「今後も地域包括の保健師のためのスキルアップと交流の機会を作ってほしい。」という受講生の意見から、交流会を兼ねたフォローアップ研修「現場発!地域包括その2」を平成27年6月27日頃に開催予定としています。

(保健師職能委員 澤井直子)

保助看のページ

1年目を振り返って

看護師1年目の感情の変化

1年前に念願の看護師として、入社した初日から慣れない環境でのオリエンテーションや研修などが連日続き、緊張の連続で本当にやっていけるのか不安を感じていました。同期入社の人ともうまくコミュニケーションがとれるか、仲を深めることができるか心配でした。初めの頃はこれまでの自分では感じなかったマイナス思考ばかり。

そんな毎日を過ごしていると、入社して初めて嬉しい出来事に出会えました。それは、同期に入社した人たちを、かけがえのない大切な仲間と思えたことです。

同期には私と同じ新人看護師、経験のある看護師、放射線技師、薬剤師、理学療法士、臨床工学技士などがいますが、一緒に過ごしているうちに互いに打ち解け合えるようになりました。仕事の話やプライベートの事などを話していると、職歴に関係なく一緒にいて楽しいと思えるようになり、マイナス思考に少しずつ変化がみられていきました。

先輩の指導を糧にして

同期と仲良くなれた頃、同じ時を過ごした研修期間が終了し、いよいよ各病棟へ配属となりました。新人の配属は各病棟で1人しかいないため、入社時のように再び慣れない環境へ放り出された感覚になりました。知らない環境と不安と緊張の日々で孤独を感じることもしばしばありました。そんな中、先輩たちの指導を受けながら病棟での業務を行うことで、看護師としての資格を持って働く責任を痛感していきました。先輩から「この患者さんはどんなことに注意して観察しなきゃいけないの?」「患者さんの記録を見るときにここは見てる?」など細かく指導を受けました。出来ないことばかりで、自分に自信がないため悔しい感情が出てきて、帰宅後に業務に必要な勉強をしていました。

マイナス思考からプラス思考へ

今になって振り返ると、看護師としての責任や役割を果たすために大切なことを教わっていたのだと思います。今は独り立ち

をして、日勤も夜勤も1人でこなさなければならなくなりましたが、自分でできることが増え、時間が経つにつれてマイナス思考はプラス思考へ変化していきました。まだまだ出来ないことや不十分なことは沢山ありますが、疑問はそのままにせず先輩に聞きながら業務をこなしています。私が勤めている病棟は先輩後輩関係なく、全員がお互いを気にかけて協力して業務を行える素晴らしいチームワークを兼ね備えている病棟です。私はそんな自分の職場が大好きです。配属時の孤独感はいつか消え、自分の気持ちを話せることができ、仲間として自分が存在していると思えるようになりました。

4月からは先輩ができ、新人の気持ちに一番近い先輩になります。まずは新人の緊張や不安をくみ取ってあげることが、新人への気配りだと思うので、コミュニケーションをはかり、話しやすい雰囲気づくりに努めたいと思っています。自分が先輩にしてもらった嬉しかったことを後輩に行い、正の感情や正の気持ちで働けるような環境を作っていきたいと思います。



先輩と

看護師
東芝病院
森田 むつき
Morita Mutsuki



保健師として、社会人としての1年

保健師
新宿区 健康部
牛込保健センター
佐藤 太一
Sato Taichi



平成25年4月に新宿区に入庁し、もうすぐ2年が経とうとしています。入庁後、自分の担当地区を持ち、また、母子保健事業にもかかわることになりました。しかし、保健師の資格をとったとはいえ、母子・精神・難病・成人……と多岐にわたる地区の課題を前に頭の中は「?」ばかりで、その場その場で知識を得て活動していくという毎日。「ケースを通して学ぶ」という言葉そのものでした。

また、1人の人を支援していくにも、それぞれの方の抱える問題は多様なので、関係機関等と連携していくことは必須でした。新人であるが故に迷惑をかけることも多いですが、一人ひとりの支援を通じて、多職種の仲間が増えていくことは地区活動をしていく上で大きな喜びになりました。

就職2年目の昨年は、母子保健分野の課題分析作業部会にも参加することができて、その作業を進める上でも自分たちの活動を振り返り、支援を考察するとよい機会になりました。

今後の課題や目指すこと

現在、保健師として区民の方の相談を受け、日々勉強の毎日です。それを積み重ねていく中で、保健師本来の「地区を見て、課題を抽出し、取り組むべき優先順位をつけ、戦略的に保健活動を実施し、評価していく」という業務ができればよいなと思っています。

必死だった助産師1年目

寒さの中にも少しずつ春の陽気を感じながら、もうすぐ就職して1年が経つのだなと実感しています。私は昨年4月、聖母病院に助産師として就職しました。思い返すと、国家試験に合格したばかりの私は、学生時代とは違うその責任の重さに緊張しながら春を迎えました。一方で、未熟であるからこそ、個々の経験を大切に、先輩方やお母さん・赤ちゃんから、より多くのことを学び吸収して、少しずつでも成長していこうという想いで、助産師としてのスタートを切りました。

実際に4月から始まった就職1年目は、一言で表すと「必死」であったように思います。技術や知識、全てが後追いになりつつ、目の前で起きていることを理解し、すべきだったことをふり返り、何とか次につなげようと無我夢中でした。

学びの大きかった事例

そのような中、私は先日、産後うつリスクが高く、授乳困難な方を退院前日に担当しました。母乳への思いが強い方で、授乳前のマッサージ・直接母乳・搾乳・ミルクとさまざまな授乳方法を試しながらも、体重が減り続ける児の様子に戸惑っていました。そのため、私は先輩と相談しながら、その方の母乳にこだわる理由や退院後の生活に

先輩へのメッセージ

歴代の保健師は、目まぐるしく変化していく時代の流れを感じながら、その時々々の公衆衛生の課題を抽出し、効果的な解決方法をいろいろな人と連携しながら検討し、実践・評価をしてこられました。その熱意や獲得されてきた知識を直に受け継ぎながら、公衆衛生の担い手である保健師として、一緒に働く方が増えることを楽しみにしています。

男性保健師として

新宿区には私を含め4人の男性保健師がおり、現在配属されている保健センターにも心強い先輩男性保健師が1名います。私も当初、母子保健担当になったときは戸惑いましたが、男性でも担当できるように、サポートしてくれる上司・同僚がいるので安心して取り組んでいます。男性保健師も年々増えています。



両親学級

助産師
聖母病院
賀屋 朋子
Kaya tomoko



ついてたずね、実施可能な授乳方法や、栄養方針と一緒に考え、決めていきました。その結果、「朝は不安でいっぱいでしたが、退院後の具体的なイメージが湧いて、だいぶ安心しました」と言っていました。このことから私は専門職として単なる情報提供ではなく、「母親自身がどうしていきたいのか」を寄り添い考え、的確な選択肢を与えていくことの重要性を教えられました。

寄り添えるケアを目指して

2年目の春を迎えました。未熟な自分に焦りも感じますが、先の経験をひとつの糧に、助産師としての知識と技術をつけるとともに、母児を主体に考え、本当に寄り添えるケアとは何か自分自身に問うて、日々を積み重ねていきたいと考えています。そしていつの日か、現在指導して下さる先輩方のように、聖母病院のあたたかなケアを先輩へつなげていくことができるよう成長していきたいと思っています。



同期とともに

注射事故を防ぐ

東京都看護協会の医療安全委員会は、平成27年度のテーマを「注射事故を防ぐ」としました。

<テーマ選定の理由>

注射事故は患者の生命への影響が大きいことから発生を食い止めることは急務であり、「ひと」「もの」「環境」の視点からの対策が、取られてきました。しかし、それにもかかわらず同様の事故が発生していることを重く受け止めています。

これまでの対策が生かされているのか、
どう対応をすればよいのか、今年度はあらためて考えてみましょう。

<最近の事例より>

■ カリウム製剤の誤注射

東海地方の公立病院で、点滴投与すべきカリウム製剤を看護師が静脈注射で投与し、直後に患者は死亡した。(平成26年11月 毎日新聞より)

<解説> カリウム製剤の急速注射は心停止の危険があるため、原液を直接注射することは厳禁です。点滴内に混入すべきものを側管注した死亡事故は平成16年から18年に続けて報道され、以下の対策が取られていたのに発生してしまいました。

- 1 希釈製品への切り替えや、原液は薬剤部にしか置かないなど、カリウム製剤原液を現場からなくす。
- 2 エラープルーフ(不適切な操作をしても危険な状態に陥らないような設計)を考慮したプレフィルド型シリンジ製剤に切り替える。

■ 名称類似・外観類似の抗菌薬と筋弛緩剤の間違い

近畿地方の公立病院で、処方した抗菌薬の「マキシベーム」であったのに薬剤師が筋弛緩剤の「マスキュレート」を病棟配送した。病棟看護師は点滴投与し、薬剤師が間違いに気づいた2時間後には、患者は心肺停止の状態であった。(平成27年1月 朝日新聞より)

<解説> 筋弛緩剤は薬剤部では毒薬専用の棚に保管していました。決められた手順通りに取り出し記録もしましたが「抗菌薬を準備していると思い込んだ」薬剤師は自分の間違いに気づくことはできませんでした。病棟看護師も2人で確認しましたが、間違いを発見できませんでした。



平成27年1月 朝日新聞

(医療安全委員会 佐々木 久美子)

4月に確認したいこと

新しい年度が始まり、新入職員を迎えた施設も多いのではないのでしょうか。安全な医療環境を作るために、新入職員が業務に入る前に確認したい事項について2点紹介したいと思います。

<麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘の抗体獲得>

2012年から2013年の風疹大流行を機に、職員の抗体価検査と抗体の基準を満たしていない職員への予防接種に取り組んだ医療機関も多いと思います。

2014年9月に改訂された日本環境感染学会「第2版医療関係者のためのワクチンガイドライン」ではまず、予防接種歴を確認し、確認できない場合に抗体価測定、予防接種を行うことを推奨しています。

私たち医療従事者は、自らが感染症から身を守ることはもちろんですが、自分自身が感染拡大の原因にならないためにも、麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘について免疫を獲得しておく必要があります。ワクチンの必要性和重要性を理解した上で、基準を満たさない場合は予防接種を受けるよう呼びかけましょう。

<血液・体液曝露時の対応方法>

新人を迎えるこの時期は、針刺しなどによる血液・体液曝露の報告が多く聞かれます。業務経験があるスタッフにくらべ、新人は処置に対して血液・体液曝露の予測ができないため、曝露を起こすリスクが高いといわれます。

個人防護用具の着用や、針刺し防止機構付き器材の使用など予防策についての教育も重要ですが、万が一、血液・体液曝露が起きたときに迅速な対応ができるようスタッフ一人ひとりが自施設の対応マニュアルを再度確認するよう呼びかけましょう。B型肝炎ワクチン接種については医療系教育機関で広く行われていますが、免疫を獲得しているか確認するよう呼びかけましょう。

※ http://www.kankyokansen.org/modules/news/index.php?content_id=106

アガタ 感染対策委員会 縣 智香子

子育て支援事業運営委員会

「東京都女性活躍推薦大賞」で奨励賞を受賞しました。

贈呈式 2月4日(水) 場所: 青山ウィメンズプラザ

東京都では、すべての女性が意欲と能力に応じて、多様な生き方を選択できる社会の実現に向け、「東京都女性活躍推進大賞」を創設しました。このたび当協会の子育て支援事業運営委員会が、奨励賞を受賞しました。



子育て支援運営委員会のメンバー

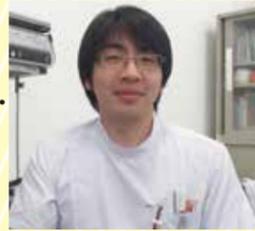


【東京都女性活躍推進ロゴマーク】

「女性が自らの希望や夢の実現に向けて、未来に羽ばたくイメージ」で作成されました。

<チーム医療の現場から> — 東京都薬剤師会

薬剤師をうまく活用するため



東京医科大学病院 藤瀬 遥

<大切な多職種のコミュニケーション>

私は、新宿区にある東京医科大学病院の救命救急センターで日々汗をかいている薬剤師です。当院の救命救急センターは初療室が3床、救命救急センターが20床からなります。

私の業務内容は、毎朝のカンファレンスへの参加、回診同行及び薬剤選択、医薬品の在庫管理、患者個人別カードのセット、医療安全対策、初療室での治療への参画などがあります。

まずカンファレンスで新規入院患者さんの情報を共有し、回診で具体的な治療方針を決定されます。回診では、医師の治療方針に沿った薬剤の提案や、患者さんの状態（腎機能低下など）に合わせた投与量の減量、投与経路の変更の提案などを行います。このとき、看護師さんの看護視点からのアドバイスにより提案を変えることがあります。薬剤師も毎日、患者さんを見ているつもりではありますが、看護師さんには及びません。検査データからは読み取ることのできない、ちょっとした変化の予兆などをいつも教えてもらっています。これらを総合的に判断して、医師は薬剤師と相談しながら医薬品の選択と投与量を決めています。

医療安全対策では、医薬品に関するインシデントが起き、ルール改訂が必要になったときに各々の職能の観点から、より安全に医療を行うためにどう改訂できるかを話し合います。

初療室での治療への参画では、病院内のICLS講習を受講し、心肺停止患者への対応を学んでから参加し始めました。すべての症例には参加できていませんが、薬剤の提案・調製から投薬歴の確認などを行っています。

■ 増えてきた病棟の薬剤師

チーム医療という、NST、ICT、褥瘡対策チームなどを思い浮かべますが、平成24年度診療報酬改定において、入院基本料の加算として「病棟薬剤業務実施加算」が新設されました。これを受け、薬剤師を病棟に配置する病院が増えたかと思われます。しかし、薬剤師は病棟において1人で実はとても寂しいです。どうか話しかけてください。普段コミュニケーションをとっているからこそ、いざという時にお互いを尊敬・信頼し、職能を活かした最良のパフォーマンスができると考えています。薬剤師をうまく活用して下さい。

※ICLS=Immediate Cardiac Life Support 医療従事者のための蘇生トレーニング



カンファレンス



看護師と

施設めぐり 第27回

社会福祉法人信愛報恩会 信愛訪問看護ステーション・ 複合型ケア ほほえみ

(取材：樺澤・望月)



■ 施設の概要

東京の郊外、武蔵野の自然が深く残る清瀬市に、昨年、都内6つ目となる介護保険の複合型サービス「信愛訪問看護ステーション・複合型ケアほほえみ」が開設されました。訪問看護・通い・泊まり・訪問看護の4つのサービスを定額制でニーズに合わせて使えます。ほほえみは約4km離れた信愛訪問看護ステーションサテライトと、毎朝、スカイプ会議で情報共有しています。複合型ケアほほえみの建物には、グループホーム2ユニットとサービス付き高齢者向け住宅42戸も併設され、老後の暮らしの安心を提供しています。

■ 上村所長さんにお話をうかがいました

複合型サービスを開始してからは、訪問看護だけでは“点”でのかかわりだった利用者との関係が、通い・泊まり・訪問と継続したケアで“線”としてつながった感じがあるのと、ヘルパーなど介護職との連携も深まったそうです。利用者もスタッフと近い関係となり、コミュニケーションがとりやすく、家族も含めて安心感につながり、より良い関係が持てるようになりました。そのため認知症の方でも混乱が少ないとのことでした。

地域医療連携室の退院調整ナースやMSWを通して病院からの依頼で、退院に自信の持てない患者が自宅に帰る前に、ほほえみの“泊まり”を利用し、理学療法士によるリハビリなどを受けるケースもあり、その件数は増加しています。末期がんの患者が、ほほえみを利用したことで最期の時間を家族とともに自宅で過ごせたこともあります。

医療依存度が高く、デイサービスやショートステイを利用できなかったケースの受け入れも可能であり、今後、複合型サービスの需要増加は必須とのことでした。

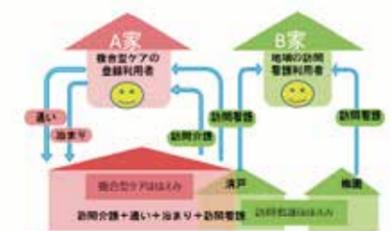
利用者にとっては、在宅生活の継続を可能にするケアと安心感のあるスタッフ対応が揃ったとてもうれしいサービスであるが、その状況に応じて柔軟な対応をしていく施設側の運営は「とても大変」とのこと。しかし、それ以上のやりがいを持ってるとのことでした。

■ 後輩へのメッセージ

私たちの仕事は病院から住宅に不安なくスムーズに移行できることからスタートし、在宅では地域の医療・介護サービスとチームを組み、その人が望む場所で望む生活ができるよう支援すること。専門的な治療が必要ときには病院につなぐという役割もあります。病院看護師と訪問看護師がつながりを強めていくことで、病院看護師は「こうすれば住宅に帰れる」という視点を持てるようになります。訪問看護師は「地域に帰すときの仲間」だと思ってください。そして「訪問看護をやってみよう」と思う人が増えることも望みます。ぜひ、ほほえみで一緒に働きませんか。

上村 貴代美 所長

ほほえみの訪問看護と複合型サービスの動き



第2の家 第2の家族



そのころ ほほえみでは朝のスカイプ会議



看護の日・看護週間事業 看護フェスタ2015

入場
無料

日時：平成27年5月16日(土) 12:00~16:00
場所：新宿駅西口広場イベントコーナー(地下1階)
対象：一般市民
内容：健康チェック・健康相談・ミニ講座・クイズラリー等

看護の日の記念グッズも配布しています。お気軽にお立ち寄りください
※看護フェスタは医療関係団体と東京都看護協会会員の協力で実施されています。



みんなの広場



「卓球を通して健康寿命に貢献する会」発足会

3月の春めいた日曜日の午後東京都看護協会会館で、「卓球を通して健康寿命に貢献する会」の発足会が開催され、約100名が集まりました。東京都看護協会が特別協力／共催しているこの会は、医療に従事する方々・プロの卓球選手・卓球に造形の深い著名人とともに、誰もが気軽に楽しめる健康卓球を確立し、健康寿命を延ばして日本の社会に貢献することを目的に発足されました。

朝日エルグループ会長の**岡山慶子さん**が開会宣言し、「実は男性も女性も寝たきりになってからが実によく長くて、男性は9年、女性は12年も健康でないままに生き永らえるというデータが出ています。国を挙げて健康寿命を延ばそうとしており、私たちも卓球を通して健康寿命を延ばし貢献したい」と、会の主旨が熱く語られました。また、事業計画として、卓球が心身に及ぼす効果調査研究、卓球人口の拡大(卓球大会・卓球教室の開催)、卓球健康セミナーの開催、学習ツール(eラーニング、DVD)の作成、健康卓球認定資格制度の設立、広報活動をあげていました。

東京都看護協会に卓球台を寄付された日本学生卓球連盟会長の**児玉圭司さん**は、「卓球は生涯スポーツとして寿命に貢献できる。国際連盟、200の国以上が加盟しているスポーツの中で競技人口は圧倒的に多いのは1位が卓球とバレーボール、3位がバスケットボールで、協議実行は圧倒的に卓球が多い。「卓球は瞬発力のマラソン競技」でフット・インナー・アームの3つのワークを鍛えることができ、判断力・決断力・対応力・実行力、平常心を保つなど精神面も鍛えることができる奥深い生涯スポー



ツである」と話されていました。

稲毛病院の整形外科・健康支援科の**佐藤務医師**は「卓球は非常にけがの少ない競技であり、さらに日本人に向いている競技。高齢者に多い腰部脊柱管狭窄症では、腰を伸ばすと神経を圧迫するため腰を少し曲げたくらいがよくて、その中でも盆踊りが日本人にいい姿勢で、それに似た卓球のかまが合っているように思う。リハビリの観点からも歩けばよいのではなく、卓球の動きは健康を維持するのに合っている、趣味にすると役に立つスポーツ」と述べられました。

日本精神科看護協会業務執行理事の**仲野栄さん**からは「精神科には必ず卓球台があり、ピンポンは年齢を問わずできる。精神科で感じるのは患者は勝てば嬉しく、また身体を使ってすっきりするので心身ともによい。看護師は負けると悔しくもあるが、一緒にやると共感できてよい」と看護の場での卓球の有益性が紹介されました。

スペシャルサポーターの**コシノジュンコさん**(ファッションデザイナー)は「ただただ大好きの卓球をしていると嫌な事を全部忘れることができる」と語り、**四元奈生美選手**や**福澤朗アナウンサー**らと実演しました。福澤さんは「命は地球よりも重い。2.7g(1円玉3枚)の球がその命に貢献できるのは素晴らしい」とラリーをしながら強調しました。リズムカルなラリーに感嘆の声が上がり、時折鋭いスマッシュに会場がわーっと沸きました。

90歳の**飯田さん**が登場し、選手と素晴らしいラリーを披露されました。ストレスをためない、よく食べる、よく寝ることがモットーの飯

「健康寿命」とは、日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる生存期間のこと。とWHOが2000年にこの言葉を公表しました。平均寿命から介護(自立した生活ができない)を引いた数が健康寿命になり、厚生労働省は、2010年の統計では日本人の健康寿命は男性で70.42歳、女性で73.62歳であると2012年6月に発表しています。

田さんは選手と素晴らしいラリーを披露されました。55歳から卓球をはじめた35日目、週5回練習し、卓球を通して友達が増えたとのこと。

続いて**大内洋医師**、**嶋森好子会長**、**コシノジュンコさん**によるトークショーが行われました。「卓球は前傾姿勢で股関節が屈曲していると筋力がしっかりしてくるスポーツ」、「有酸素運動にもなり、いろんな方面で役に立つスポーツ」、「看護職も働きながら卓球ができ元気になって次の仕事につながる。これは良い」と賛成。「おしゃれをして卓球をするのも良い。若いころやっているとなれない。きっかけがあるとすぐできる。心の健康にもなるので広がることを願う」などいろいろな話題に会場はうなずいていました。

原田敦先生の講演では「健康長寿をおびやかすフレイル(筋力や活力の低下)、ロコモ(運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態)―その早期予防に向けた卓球への期待―」について、まず医学的観点からフレイル・ロコモに関して説明し、「認知症や骨折・要介護を卓球を通して予防しましょう」とメッセージがありました。皆さんも、卓球を始めてみませんか?



みんなの広場



「卓球を通して健康寿命を延ばす会」発足会
プログラム (以下 敬称略、五十音順)
日時：3月15日(日) 13:30～15:00
会場：東京都看護協会 サークル室

参加者：1.会の主旨と今後の事業計画について 13:30～13:35

岡山 慶子(朝日エルグループ会長)

2.卓球は生涯スポーツとして寿命に貢献できる

児玉 圭司(株式会社スベンソン代表取締役社長)

学生時代世界選手権出場、

日本のナショナルチームの元監督

日本学生卓球連盟会長、日本卓球協会評議員

3.卓球大会 パート1 13:40～14:00

コシノジュンコさん／**四元 奈生美選手**などによる
楽しさと、妙技の披露

4.トークショー 14:00～14:20

「もっと元気に、もっと美しく。」

大内 洋(医療法人鉄蕉会 亀田病院スポーツ医学科部長)

コシノジュンコ(ファッションデザイナー)

嶋森 好子(公益社団法人 東京都看護協会会長)

5.講演 14:20～14:40

「健康長寿をおびやかすフレイル、

ロコモ ― その早期予防に向けた卓球への期待 ―」

原田 敦(独立行政法人 国立長寿医療研究センター病院長)

6.協力団体等からメッセージ 14:40～14:45

佐藤 務(稲毛病院 整形外科・健康支援科部長)

仲野 栄(一般社団法人 日本精神科看護協会業務執行理事)

7.卓球大会 パート2 14:45～15:00

卓球のおかげでとても元気な90歳／

インストラクター／看護師さんによる

健康維持や強さとスピードの技披露

(取材:宇賀神、樺澤)

